

SHOWA UNIVERSITY NEWS

6 JUN. JUL. 7
2024

昭和大学新聞
通巻 第620号 (隔月発行)

2025年、昭和大学は昭和医科大学へ 第14回 学祖祭を挙げる



Special Feature

昭和大学は昭和医科大学へ
校名変更します

第14回学祖祭を举行

上條奨学賞、上條最優秀論文賞、
昭和大学奨学・研究奨励基金研究者、
昭和大学学業成績優秀賞の表彰

Press Release

地域保健医療にける情熱を応援する
「昭和上海医療賞」の募集を開始
「宇宙医科学研究」構想をJAXAが採択
今後共同研究を行い、医学への応用を目指す
高ストレス職向けプログラムの提供を開始
アメリカでの研究・臨床が進むストレスマネジメントを
法人向けに改良し、Well-beingの実現を後押し
デザインの力で医療現場をよりよく
多摩美術大学との包括連携協定をもとに
新たな研究所を開設

News & Topics

大学院留学生ウェルカムパーティー 春期公開講座
優秀サークル表彰式・新規公認サークル認定通知式
包括連携協定大学連絡協議会 ほか

Student Life

昭和大学の看専に♡

Database

卒業生の進路状況
私立大学等経常費補助金交付状況
大学院入試要項
決算の概要 科学研究費助成事業交付内定

Meeting Report (学内会議報告)

Information

1928 (S3)

昭和医学専門学校を開校
(関東大震災の5年後)

1946 (S21)

医科大学の設立が認可、
昭和医科大学となる

1964 (S39)

薬学部を設置、
昭和大学へと改称

1977 (S52)

歯学部を設置

2002 (H14)

保健医療学部を設置

2025年4月1日、校名を変更します。

昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部を擁する

医系総合大学であることを校名からも発信し、大学として更なる発展を目指します。

創立100周年*とその先の未来へ向かって、

「常にまごころを持って、社会に貢献できる優れた医療人」の育成を続けていきます。

※本学は、2028年11月15日に創立100周年を迎えます。



学校法人昭和大学
理事長

小口 勝司

このたび、本学は2025年4月より、「昭和医科大学」と校名変更する運びとなりました。これは、医系総合大学としての専門性を表すこと、ならびに医系総合大学へさらに特化することにより、本学の特色を活かして一層の発展を目指すものです。

本学創立以来の伝統を継承し、100周年を目前に控えた今、これまで培ってきた高度な教育水準と先駆的な学術研究を礎に、新たな時代の医療分野における社会のニーズに常に応え得る高等教育機関として、その使命を果たしてまいります。

100年またその先の100年も“至誠一貫”の精神のもと最前線で活躍する医療専門職を育成するとともに、医療の進歩にさらなる挑戦と努力を惜しまず邁進いたします。

みなさまの深いご理解とさらなるご支援を心よりお願い申し上げます。



昭和大学 学長

久光 正

2025 (R7)

昭和医科大学へと改称

2028 (R10)

創立100周年を迎える

本学は2028年に創立100周年を迎えます。昭和医科大学への校名変更は本学の新たな展開を象徴し、広く社会に認知される契機であると考えています。本学の前身は、1928年に開校した昭和医学専門学校です。1946年に昭和医科大学となり、1964年、薬学部開設を機に、昭和大学に改称しました。その後、歯学部、保健医療学部を開設し、「医系総合大学」として社会に貢献できる優れた医療人を育成する方針で今に至っています。2027年には「鷺沼キャンパス」(神奈川県川崎市)が開設され、保健医療学部新たに5専攻(言語聴覚療法学、視覚機能療法学、診療放射線技術学、臨床工学、歯科衛生学)※1の設置が予定されています。本学が「医系総合大学」であることが校名から分かるようになります。

英語名称は「SHOWA Medical University」です。どうぞよろしくお願いいたします。

※1：設置構想中であり、今後、内容が変更となる可能性があります。

昭和大学は昭和医科大学へ

約580名が出席し盛況を博する 学祖祭で49名の優秀者を表彰

6月2日、第14回学祖祭を上條記念館で挙行し、学祖・上條秀介博士の親族、法人役員、同窓生、職員および学生など約580名が出席した。

同日午前、小口勝司理事長をはじめ法人役員と親族は、多磨霊園にある学祖・上條秀介博士、上條一也博士の墓前を訪れ、参列者一同で黙祷を捧げるとともに、本学の事業が順調であることを報告した。

午後1時からは、上條記念館において式典を行った。
根本海美さん（薬学部2年）の前奏で開式、久光正学長が挨拶を述べた。

その後、上條奨学賞および上條最優秀論文賞・上條優秀論文賞の授与、昭和大学奨学・研究奨励基金研究者の表彰、昭和大学学業成績優秀賞の授与が行われた。（各賞の表彰者は別掲のとおり）

小口理事長からは「学校法人昭和大学運営方針」と題して、新たに研究所を設置したことや活性化推進委員会による活動、国際交流等、令和5年度における本学の活動内容について報告がなされたほか、令和5年度決算報告として、事業活動収入・事業活動支出について説明がなされた。また、令和7年度に校名を「昭和医科大学」に変更することや、鷺沼キャンパス整備事業をはじめとする将来計画の具体的な構想についても説明がなされ、創立100周年とその先の100年へ向けて邁進するとのメッセージが発信された。

式典後の懇親会には多くの職員が参加し、昭和大学メディカルオールスターズ（MAS）による演奏、昭和大学応援指導部による演舞が披露され、盛会となった。



1 挨拶：久光正学長 2 講演：小口勝司理事長
3 黙祷 4 演舞：応援指導部 5 昭和大学メディカルオールスターズ（MAS）による演奏 6 前奏：根本海美さん（薬学部2年） 7 校歌斉唱

昭和大学上條奨学賞

上條奨学賞は、学術上有益な研究課題に取り組み業績を挙げた職員、教育実践上の課題に取り組み功績を挙げた職員を対象として、表彰するもの。令和6年度は以下の職員が表彰された。

研究業績部門

研究科	課題	受賞者
医学研究科	高速T1強調画像MRIによる冠動脈ブランク内出血の検出法の確立	循環器内科学分野 准教授 松本 英成
歯学研究科	口蓋創傷治癒過程における神経堤由来細胞の役割の解明	歯科薬理学分野 講師 唐川 亜希子
薬学研究科	小児患者の年齢、発達、嗜好に応じた服用しやすい個別化製剤の開発と臨床評価	薬剤学分野 准教授 原田 努
保健医療学研究科	Mild-intensity running exercise recovered motor function by improvement of ankle mobility after unilateral brain injury of mice using three-dimensional kinematic analysis techniques. (中等度のランニングエクササイズは運動障害を呈した足関節の運動機能を回復させる～片側脳損傷モデルマウスに対する3次元動作分析法を用いた検証～)	医系基礎・専門・教育分野 講師 吉川 輝

教育功績部門

学部	課題	受賞者
医学部	医学部における新カリキュラム導入への貢献	内科学講座 呼吸器アレルギー内科学部門 准教授 鈴木 慎太郎
歯学部	口唇裂・口蓋裂治療に関する歯学部臨床教育の推進	口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門 教授 代田 達夫
薬学部	臨床薬剤師育成のための卒前・卒後教育の充実と確立	病院薬剤学講座 准教授 縄田 修一
保健医療学部	国際的な視点を育む教育プログラムの構築	看護学科 教授 田中 晶子
富士吉田教育部	医学英語教育に関するカリキュラム開発および運用	教授 高橋 留美

昭和大学上條最優秀論文賞

最優秀論文賞は、本学研究者が筆頭著者として出版した論文（オンライン出版を含む）のうち、最も優秀な論文を発表した職員を対象として表彰するもの。令和6年度は以下の職員が表彰された。

所属・役職	論文名および掲載誌
医学研究科 循環器内科学分野 助教 酒井 孝志郎	論文名／ Coronary Atherosclerosis Phenotypes in Focal and Diffuse Disease. 掲載誌／ JACC Cardiovasc Imaging. 2023 Nov; 16 (11): 1452-1464

昭和大学上條優秀論文賞

優秀論文賞は、本学研究者が筆頭著者として出版した論文（オンライン出版を含む）のうち、優れた論文を発表した職員を対象として表彰するもの。令和6年度は以下の職員が表彰された。

所属・役職	論文名および掲載誌
薬学研究科 医薬化学分野 教授 福原 潔	論文名／ DTPA-Bound Planar Catechin with Potent Antioxidant Activity Triggered by Fe3+ Coordination. 掲載誌／ Antioxidants (Basel). 2023 Jan 18; 12 (2): 225.
医学研究科 腫瘍内科学分野 講師 大熊 遼太郎	論文名／ Novel quantitative Immunohistochemical analysis for evaluating PD-L1 expression with phosphor-integrated dots for predicting the efficacy of patients with cancer treated with immune checkpoint inhibitors. 掲載誌／ Front Immunol. 2023 Sep 18; 14: 1260492.
薬学研究科 病院薬剤学分野 助教 磯部 順哉	論文名／ Turicibacter and Acidaminococcus predict immune-related adverse events and efficacy of immune checkpoint inhibitor. 掲載誌／ Front Immunol. 2023 May 3; 14: 1164724.

昭和大学奨学・研究奨励基金研究者表彰

昭和大学奨学・研究奨励基金研究者は、本学の学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成するため、優れた学術研究を行った職員および本学大学院生を対象として表彰するもの。

令和6年度は以下の方々が表彰された。

学術研究諸活動

	所属	職名	氏名
医学研究科	呼吸器アレルギー内科学分野	助教(医科)	阪倉 俊介
医学研究科	脳神経内科学分野	助教(医科)	正路 大樹
医学研究科	消化器一般外科学分野	助教	篠原 由加里
医学研究科	消化器一般外科学分野	助教	長石 将大
歯学研究科	歯科薬理学分野	助教	畔津 佑季
歯学研究科	歯科矯正学分野	講師	吉田 寛
歯学研究科	歯科矯正学分野	助教(歯科)	赤塚 加奈子
薬学研究科	腫瘍細胞生物学分野	助教	中川 英嗣
薬学研究科	衛生薬学分野	助教	富塚 祐希
薬学研究科	病院薬剤学分野	助教(薬科)	石橋 未央
薬学研究科	病院薬剤学分野	助教(薬科)	青木 彩華
保健医療学研究科	リハビリテーション分野	講師	黒山 祐貴

海外留学諸活動

	所属	職名	氏名
医学研究科	循環器内科学分野	助教(医科)	新井 帝東
薬学研究科	薬理学分野	助教	篠内 良介
薬学研究科	衛生薬学分野	助教	落合 翔
薬学研究科	臨床病態学分野	助教	前田 耕平

昭和大学学業成績優秀賞

学業成績優秀賞は、本学各学部の学生および医学部附属看護専門学校の学生のうち、成績優秀者を表彰するもの。

令和6年度は以下の学生が表彰された。

	学部	年次	氏名
医学部		2年	高橋 莉菜
		3年	中国 慶紀
		4年	和田 恵都
		5年	北谷 香葉子
		6年	納富 恵里花
		2年	宮本 露亜
歯学部		3年	金田 理穂
		4年	長谷 瞳
		5年	古川 愛梨
		6年	吉成 悠貴
		2年	中本 マリア
		3年	山本 千衣里
薬学部		4年	篠原 千乃
		5年	中道 万結
		6年	青木 誠太郎
		2年	西垣 友衣
		3年	矢野 愛菜
		4年	小口 舞子
保健医療学部	看護学科 作業療法学科	2年	刈脇 奏
		3年	住友 恵奈



医学研究科
循環器内科学分野
准教授 松本 英成

高速T1強調画像MRIによる冠動脈プラーク内出血の検出法の確立

この度は、名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究にご尽力いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

プラーク内出血は、病変の進行や不安定化に関連する重要な病理学的所見とされています。しかし、冠動脈における非侵襲的検査による検出法は確立しておらず、この領域の研究は限られていました。

本研究では、プラーク内出血が高速T1強調画像

MRI撮影法（CATCH法）により高信号プラークとして描出されることを証明しました。この成果が患者様の診断や治療に貢献できるよう、今後も一層精進して参ります。

口蓋創傷治癒過程における神経堤由来細胞の役割の解明

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご指導頂きました高見正道教授をはじめ、本研究の遂行にご尽力頂きました歯科矯正学講座の瀧澤秀臣助教、歯科薬理学講座、薬理科学研究センターおよび共同研究者の皆様に心より御礼申し上げます。

口腔の再生医療では歯や歯槽骨の研究が進められていますが、口蓋粘膜の創傷治癒過程には未解明な

部分が存在しています。本研究は口蓋粘膜の神経堤由来細胞が欠損修復を担うという新しい口蓋創傷治癒過程を解明したもので、自己細胞を用いた粘膜再生治療につながると考えております。

歯科医療の発展に貢献できるよう微力ながら研究を継続して参りますので、今後ともご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

小児の発達と嗜好に応じた服用しやすい個別化製剤の開発と受容性評価

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。この受賞は、中村明弘薬学部長をはじめ、お力添えいただきました臨床薬学講座臨床研究開発学部門の肥田典子教授、医学部小児科学講座の神谷太郎准教授をはじめとする多くの先生方と、基礎医療薬学講座薬剤学部門の学生の皆さんのおかげと深く感謝しております。

小児用医薬品は、国際的にも市場規模が小さいこ

とや治験実施の困難さなどの理由から、開発が進みにくくドラッグ・ロスが課題となっています。本研究は世界中の小児が飲みやすく、開発が容易な製剤として注目されている直径2mmの小型錠について、国内で初めて受容性評価を臨床試験で実施し、その有用性と課題を明らかにしました。今後もこどもたちが服用しやすい製剤の開発に貢献できるよう、努力を続けてまいります。

脳損傷後の運動麻痺を回復させる運動療法のメカニズム解明

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であり厚く御礼申し上げます。今回の受賞に際し、医学部生理学講座生体調節機能学部門の泉崎雅彦教授をはじめ、共同研究に関わる諸先生方に心より感謝申し上げます。

私は脳卒中などの運動麻痺で苦しむ患者を救うべく、動物を用いた基礎研究に取り組んでおります。今回、学部横断的に共同研究を実施し、運動麻痺を回

復させるリハビリメカニズムの一端を運動学的、生理学的、組織学的な三側面から明らかにしました。

上條奨学賞に恥じぬよう、今後も研究活動に邁進し、昭和大学の名誉を高めるために全力を尽くして参りたいと思います。今後とも、宜しく御礼申し上げます。



薬学研究科
薬剤学分野
准教授 原田 努



保健医療学研究科
医系基礎・専門・教育分野
講師 吉川 輝

昭和大学医学部新カリキュラムの導入・推進・改善 「日本一」から「世界一」へ

この度は、栄えある上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。ご指導とご協力を賜りました、相良博典教授、泉美貴教授、小風暁医学部長をはじめ全ての先生方、学事部の皆様方に深く御礼申し上げます。「至誠一貫」の精神の下、医学・医療・福祉の発展に真心をもって寄与する優れた人財を育成すること、を地道に続けていくことの重要性を改めて実感しております。

口唇裂・口蓋裂治療に関する歯学部臨床教育の推進

この度は大変名誉ある上條奨学賞を賜り誠に光栄に存じます。また、小口勝司理事長、久光正学長をはじめ歯学部教授会の皆様のご理解とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。口唇裂・口蓋裂の治療では、それぞれの専門性を有する多職種が高い知識と技術を結集させたチーム医療が不可欠です。私は歯科病院で行われている臨床実習において学生

ここ数年間、「日本一」の医学教育を目標に医学教育改革を実践して参り、革新的な教育技術により、大変魅力ある新カリキュラムの構築に成功致しました。次は「世界一」を目指し、昭和大学の更なる発展に寄与していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



医学部内科学講座
呼吸器アレルギー内科学部門
准教授 鈴木 慎太郎



歯学部口腔外科学講座
顎顔面口腔外科学部門
教授 代田 達夫

卒前からの発展的臨床教育で臨床薬剤師の育成を実践

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であり厚く御礼申し上げます。今回の受賞は、本学が目指す「臨床薬剤師」育成において、卒前および卒後の臨床教育を薬学部全体で取り組んできた成果について、代表して受賞させていただいたものであり、深く感謝しております。現在、薬学部では、文部科学省が定める病院実習とは別に卒業研究の一環として行う「症例研究実践コース」と

して、約半年間の附属病院で発展的な臨床実習を6年次の約半数が選択しています。また、薬剤師免許取得後すぐに臨床薬剤師の基盤を築く「2年間の臨床研修薬剤師制度」を導入し、日本一の人数・規模で、日本一の臨床薬剤師育成を実践していると自負しております。これも薬学部・統括薬剤部のみならず、昭和大学全体でご支援をいただいている賜物です。今後ともご支援の程、何卒、よろしくお願いいたします。



薬学部
病院薬剤学講座
准教授 縄田 修一

国際的な視点を育む教育プログラムの構築

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。関わって下さいました皆様に深く感謝申し上げます。2022年より横浜キャンパスにサテライトオフィスが設置され、国際交流センターの皆様との交流が活発になりました。その後国際交流センターの支援で、タイのワライラック大学との交流を持つことができ、2023年にはワライラック大学と締結し、保健医療

学部の協定校が3校になりました。また2024年度から新たに保健医療学海外研修が単位化され、学生間の交流が円滑に行われることになります。今後は国際的視野を持った学生を育てるための魅力的なプログラム構築にむけ、皆様と力を合わせ検討して参ります。引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



保健医療学部看護学科
教授 田中 晶子

医学英語教育に関するカリキュラム開発および運用

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。今回の受賞は、英語教育改革の必要性にご理解をお示し下さいました富士吉田教育部長の倉田知光教授をはじめ、これまで共に英語教育の実践に携わって下さいました多くの先生方のおかげであり、深く感謝しております。今後は今年度4月に発足した医学英語教育センタ

一の先生方とも協力して、医療のグローバル化が進むなかですますその必要性が高まっている、豊かな国際感覚と英語による実践的なコミュニケーション力を兼ね備えた医療人の育成を目標に、本学の英語教育カリキュラムのさらなる改善を目指して努力してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



富士吉田教育部
教授 高橋 留美



Press Release

昭和大学では最新の研究結果を外部（マスメディア）に発信しています。
ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介します。

地域保健医療にかける情熱を応援する 「昭和上條医療賞」の募集を開始



公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団（東京都品川区・理事長 山元俊憲）は、「第11回昭和上條医療賞」の2024年度募集を開始した。本事業は、職種を問わず健康増進と医学・医療の発展に貢献する取組みを幅広く顕彰することを目的としている。

■募集の背景

当財団は、国民の健康増進と医学・医療の発展に貢献するため設立された。2014年度に創設された顕彰事業「昭和上條医療賞」は、その主な事業のひとつである。地域保健医療の実践及び教育における創造的かつ先駆的諸活動を個人やグループを問わず支援することを目的としている。

■「昭和上條医療賞」の特徴

本事業は、国民の健康増進と医学・医療の発展に貢献する取組みを幅広く顕彰している。昨今は助成条件として特定分野に限る形式の事業が一般的となっているなか、こうした医療職種を問わず多様な活動を対象とする点は、当財団の理念を体現した特色といえる。

■山元俊憲 理事長コメント

当財団は設立当初より、地域医療にかける情熱を応援し、ともに歩む存在でありたいと願って活動を続けてきました。本年も多数の応募を心よりお待ちしております。

■第11回「昭和上條医療賞」（2024年度顕彰事業）募集要項

□顕彰対象とその諸活動

全国の病院、診療所、薬局その他の医療関連機関において、以下に該当する地域保健医療活動を永年に亘って実践、推進して国民の健康増進に幅広く貢献した活動を対象とする。

- ①地域住民に対する診療・治療・ケアなどの様々な領域で、先進的かつ効果的な医療を実践、あるいは推進し地域医療に貢献した。
- ②疾病予防などの公衆衛生、生活支援などに積極的に従事し優れた功績を挙げ、地域住民の保健衛生の向上に貢献した。
- ③地域において多職種連携のチーム医療を積極的に実践し、行政、保健、福祉、介護あるいは育成機関などのスタッフと連携・協力して、地域全体で包括的な医療システムや住民サービスを提供した。

□表彰

受賞者は全体で3件以内とし表彰。（副賞100万円/件）

□過去の顕彰実績

<https://showa-mf.jp/iryousyou/index.html>

□応募方法

「顕彰申請書」と「推薦書」を当財団事務局に提出。

○推薦者は関係領域の有識者とする。

○推薦者は申請ごとに1件の推薦とする。

○活動内容に関する資料3件以内（代表となるもの）を添付。

○「顕彰申請書」と「推薦書」を当財団のホームページよりダウンロードして、必要事項をご記入の上、郵送にて応募。

□応募締切

2024年9月30日(月)必着

□結果の通知・公表

2024年11月下旬までに応募者及び推薦者に結果を通知すると共に、ホームページ等で公表。

□授賞式

2024年12月23日(月)を予定（受賞者・推薦者はご出席）。

○受賞者には、表彰状および記念メダルと副賞を授与。

○授賞式終了後、活動内容等について受賞者講演を予定。

○各受賞者の活動テーマ、功績内容及びプロフィールをホームページ等で公表する。

リリース時タイトル／2024年度募集開始 地域医療の取組みを顕彰する「第11回昭和上條医療賞」—公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団が広く医療従事者の活動を支援

詳細ページ(財団ホームページ内)／<https://showa-mf.jp/kensyouyoukou/index.html>

財団 SNS (関連情報を随時アップ)／<https://www.instagram.com/showadaigakuigakuiryo/>

本件に関する問い合わせ先／公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団 TEL: 03-3783-6731 E-mail: igakusinko@ofc.showa-u.ac.jp

「宇宙医科学研究」構想をJAXAが採択 今後共同研究を行い、医学への応用を目指す



昭

和大学（東京都品川区、学長：久光正）の茶谷昌宏准教授（歯学部歯科薬理学講座／薬理科学研究センター）が提案した企画が4月4日、JAXA宇宙科学研究所2024年度フロントローディング研究^(※1)に採択された。これを受け、昭和大学などの研究チームは、重力や宇宙放射線が生命に与える影響を解明し医学に応用する、宇宙医科学研究^(※2)をスタートし、宇宙環境での実験を目指す。本研究から得られた成果により、人類が宇宙に進出する際の健康管理への貢献や、新しい生命原理の発見が期待される。

■背景

令和6年1月30日、岸田総理は施政方針演説で、宇宙分野のアルテミス計画^(※3)に触れ、2020年代後半までに日本人初の月面着陸を目指すことを言及した。これにより、日本における宇宙研究・開発の飛躍的な進展が期待される。

宇宙空間では重力や宇宙放射線などが生物に影響を与えることが知られており、宇宙医学の進展が重要視されている。それには科学的データを取得するための宇宙実験が重要とされ、これまで国際宇宙ステーション^(※4)が活用されており、現在開発中の月軌道プラットフォームゲートウェイ^(※5)も、将来的には宇宙研究において重要な役割を果たすことが期待される。

今回、昭和大学の茶谷昌宏准教授らは、宇宙実験の一つのゴールとした新しい宇宙医科学研究テーマを提案し、JAXA宇宙科学研究所2024年度フロントローディング研究に採択された。

■提案研究の概要

宇宙の微小重力環境では骨量や筋肉量の減少などの影響が起こり、これらの恒常性を維持するためには重力などの要素が重要である。しかし、生体内で重力の変化をどのように感知し、それにどのように応答するか、つまり重力ストレス応答機構はほとんど理解されていない。これは、宇宙進出を目指す人類が解決すべき重要な課題の一つと言える。

本研究では、模擬微小重力発生装置^(※6)や加重力発生装置^(※7)を使用し、遺伝子改変マウスなどの生物に重力変動を与える実験を行うことで、重力に対する生体の応答機構を分子レベルで明らかにし、将来的には宇宙ステーションでの実験につなげることを目指す。本研究から得られた成果により、人類が宇宙に進出する際の健康管理への貢献や、新しい生命原理の発見が期待される。

■昭和大学 茶谷昌宏准教授のコメント

この度、2024年度JAXAフロントローディング研究に採択され、新チームで研究を始めることができ、光栄であり同時にとてもワクワクしています。私たちは、宇宙を念頭におきながら生命科学研究と医学研究を融合させた研究チームを目指し、その想いから宇宙医科学研究という研究分野を構想しました。地球生命には、重力を感知し応答する重力センサーが必ず存在しています。これから迎える宇宙時代に貢献できる成果の一つでも多く出し、宇宙医



茶谷昌宏准教授

科学研究を盛り上げていければと思います。多様な視点から研究を展開したいと考えていますので、本研究にご興味のある方は、下記の問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。

リリース時タイトル／昭和大学などの研究チームがJAXAと共同研究を締結し、宇宙医科学研究をスタート！

用語解説

- ※1 フロントローディング研究：JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙科学研究所が支援する、宇宙環境での実験を目指した研究。
- ※2 宇宙と生命の関係性を明らかにするため、重力や宇宙放射線の生命への影響を解析し、医学に応用することを目的とした研究。昭和大学・茶谷昌宏准教授らが提唱・推進する研究領域。
- ※3 アルテミス計画：アメリカ合衆国連邦政府が出資する有人宇宙飛行計画。当初計画では2024年までに「最初の女性を、次の男性を」月面に着陸させることを目標とした。
- ※4 国際宇宙ステーション：多国間の協力により建設された地球周回軌道上の宇宙ステーションであり、科学実験や宇宙での生活・作業の研究が行われている。異なる国々の宇宙機関が共同で運用し、宇宙探査や技術の発展に貢献している。
- ※5 月軌道プラットフォームゲートウェイ：多国間で月の周回軌道上に建設することが提案されている有人の宇宙ステーション。
- ※6 模擬微小重力装置：試料を三次元で回転させることにより、重力を均等に分散させ、一定時間の重力ベクトルの総和がゼロになる環境を作ることができる培養装置。
- ※7 加重力発生装置：遠心力を利用して試料に過剰な重力を与える環境を作る装置。

研究助成の内容

- ・名称：JAXA宇宙科学研究所 フロントローディング研究
- ・代表研究者：茶谷昌宏
- ・課題名：重力変化に応答する生体分子の同定とその機能
- ・2024年度の配分額：8,700,000 円
- ・研究期間：3年以内

研究チームメンバー

- ・昭和大学：茶谷昌宏准教授、高見正道教授、宮本洋一教授、坂井信裕教授、唐川亜希子講師、畔津佑季助教、百々悠介助教、笹清人助教、中野僚太助教、高橋夏大特別研究員（DC2）
- ・京都大学：前川真治特定准教授
- ・岐阜大学：安部力准教授
- ・東京工業大学：工藤明名誉教授
- ・JAXA：橋本博文准教授

本件に関する問い合わせ先／歯学部歯科薬理学講座／薬理科学研究センター 茶谷昌宏（ちゃたに まさひろ） TEL: 03-3784-8175 E-mail: chatani@dent.showa-u.ac.jp

高ストレス職向けプログラムの提供を開始 アメリカでの研究・臨床が進むストレスマネジメントを 法人向けに改良し、Well-beingの実現を後押し



昭和大学（東京都品川区／学長：久光正）に開設された「昭和大学ストレスマネジメント研究所」（所長：中尾睦宏教授）は、働く人たちの心身の健康と良好な社会環境の実現に向けて、法人を対象にハーバード式ストレスマネジメントプログラム（日本版）の提供を開始した。



Mind Body Trainerホームページ画面

当研究所は、働く人たちの心身の健康と良好な社会環境実現のために、『日本初のポジティブ志向／セルフケア型のハーバード式ストレスマネジメントによって“ますます元気になれる”個人と組織づくり』に貢献する。

昨今の健康経営における先進的な取り組みでは、より積極的な従業員のストレス軽減が重要視され、ワークエンゲージメント（意欲や自律性）の向上を通じて、さらなる生産性や創造性の向上、リーダーシップやチームワークの発揮、などの効果を創出するWell-being（ウェルビーイング）^{（※1）}な職場環境を整えることに重点が置かれている。また、この概念は、重要な経営資源であるヒト（従業員）や組織を「資本」として捉え、「仕事と健康を両立させ人的資本の価値を最大限に引き出すことで企業の持続的な成長に繋がる」という考え方に立脚している。

当研究所では、米国ハーバード大学医学部心身医学研究所（現ベンソン・ヘンリー心身医学研究所）と共同で、Well-beingな環境づくりに貢献するストレスマネジメントの研究を進めてきた。そして今般、米国で30年以上の研究・臨床の実績があるハーバード式ストレスマネジメントをベースに法人向けに改良した日本版パッケージプログラムを開発した。

本プログラムは以下の3つの基本要素で構成されている。

- ①「心身医学の専門医によるワークショップ形式セミナー」
- ②「公認心理師や臨床心理士による対面式グループ指導と効果測定」
- ③「マンツーマンオンライントレーニング^{（※2）}によるフォローアップ」

主な対象は、経営者・幹部社員、専門職、スポーツ選手、アーティストなどハイパフォーマンスを求められる高ストレス職種の方々であり、各顧客ニーズに合わせて本プログラムを効果的にカスタマイズでき、すでに法人顧客に対して提供を開始している。

本プログラムを通じて、受講者はストレスがもたらす心と身体への影響について基本的な理解を得るとともに、自ら日常的にストレス軽減と不安解消を行い、チームとしてより高いパフォーマンスが発揮できるようになるスキルを身につけることを目標とする。さらに、これを習慣づけて継続することで以下のような効果が期待される。

■期待される効果

・自己の特性（物事への感じ方、考え方の癖）を理解し自身でストレスに対処でき心身の健康を保つことができる

- ・仕事やプロジェクトへの意欲、自律性、集中力向上により創造性や生産性が高まる
- ・自己肯定力を高め目標や困難な問題に対処することができ、燃え尽き症候群（バーンアウト）の予防にもつながる
- ・感情知性（EI）の向上により相手への共感や思いやりを持ち衝動的な怒り（突然の暴言・暴行など）が抑制でき、その結果、人間関係（リーダーシップ、チームワーク）も改善される

当研究所では、これからも研究・教育のみでなく、社会実装を通じて、ストレス社会を生きる一人ひとりの「幸福」「元気」に貢献していく。

リリース時タイトル／昭和大学ストレスマネジメント研究所が、社会実装の一環として『法人向けストレスマネジメント・プログラム』を開始

用語解説／

- ※1 Well-beingとは、身体面だけでなく心の状態、さらに社会環境も含めて良好な状態（幸福）であることを意味する。
- ※2 昭和大学ストレスマネジメント研究所が監修したMind Body Trainerという名称の登録制オンラインカウンセリングサービス（登録方法やサービス内容の詳細については下記リンク先を参照）。

Mind Body Trainerホームページ／<https://mbtrainer.net>

本件に関する問い合わせ先／昭和大学ストレスマネジメント研究所 E-mail：stmanage@med.showa-u.ac.jp



昭友商事株式会社

昭和大学の皆さまへ
便利なサービス・商品を提供します！

昭和大学富士吉田の天然水

イベント業務委託

昭和大学オリジナルワイン

ローソン&タリーズ

QUOカード・VJAギフトカードなど

その他色々！

お気軽にお問い合わせください！ ☎ 3784-8280

デザインの力で医療現場をよりよく 多摩美術大学との包括連携協定をもとに 新たな研究所を開設



学校法人昭和大学（東京都品川区／理事長 小口勝司）は、学校法人多摩美術大学との包括連携協定に基づき「昭和大学メディカルデザイン研究所（Institute of Medical Design/IMD）」を設立し、2024年5月27日に横浜キャンパスにて開所式を開催した。

昭和大学メディカルデザイン研究所は、昭和大学と多摩美術大学で教授を務める安次富隆所長のリーダーシップのもと、両大学に蓄積された知恵と経験を活用することで「医術と美術の連携による医療現場のQOLの向上」に資することを目的として設立された。

2024年5月27日に開催した開所式には、本学の関係者および多摩美術大学の関係者が出席した。

冒頭、学校法人昭和大学 小口勝司理事長は「お互いに持っているものを出し合えば新しい文化を創造できるのではないかと思います、本学の研究所として創設しました。両大学が協力して運用できればと思っています。それは、新しい大学の在り方の志向になるのではないかと思います。今後の研究所の発展を強く願います」と挨拶。また、昭和大学 久光正学長は「本学では職種を越えたチーム医療教育が実践され、成果を上げています。両校の知恵、技術を組み合わせ新たな研究分野の可能性を模索し、患者・医療従事者にとってより良いデザインが生まれる、このスタートに皆が期待しています」と、この研究所への思いを述べた。多摩美術大学 内藤廣学長からは「医療とデザインが手を結び合い、新しい未来を切り開くのは初めての取り組みです。必然の課題にいいよ取り組めることは大変な刺激になります。新しい領域を切り開く努力をしまいいりたい」と挨拶した。

安次富所長による研究所の説明では「昭和大学においては医療の分野を専門とする方々が教育・研究・診療に取り組んでいますが、飲みやすい錠剤形状の研究や、医療技術習得に関する教

育プログラムの構築など、ご自分では気づかないうちにデザインを行っています。今後、医療とデザインの専門性の融合と相乗効果により、新しい価値を生み出していきたい」と抱負を述べた。

※学校法人昭和大学と学校法人多摩美術大学は包括連携協定を締結している。
※令和6年4月1日、昭和大学は、クロスアポイントメント制度により多摩美術大学プロダクトデザイン専攻 安次富隆教授を昭和大学メディカルデザイン研究所 教授として採用した。

■昭和大学メディカルデザイン研究所の概要

ー医術と美術の連携から、医療現場のQOLを目指すー

病院内における様々な案内、照明、待合室などのデザインを工夫することで、来院される方に安心感とリラックスできる環境を提供することや、病衣や医療従事者のユニフォームなどを機能性だけではなくファッション性も考慮し、患者さんや医療従事者のQOLの向上を図る。

このほか、包括連携協定を締結している多摩美術大学の多種多様な工作機械を活用し、患者さん一人ひとりにあった自助具や外科医が自作する治具などを製作することを計画している。

医術をデザインで支え、誰もが創造的で心身とも健康になれる場づくりを目指す。



リリース時タイトル／昭和大学メディカルデザイン研究所開所式を開催

昭和大学メディカルデザイン研究所のWEBページ／<https://www.showa-u.ac.jp/research/imd-start/>

本件に関する問い合わせ先／昭和大学メディカルデザイン研究所 (Institute of Medical Design 【IMD】) TEL：045-482-9637 E-mail：imd-start@med.showa-u.ac.jp

お気軽にご相談を!!

- ◆ 万が一のための保障準備
- ◆ 住宅ローン・資産運用 など

中央棟
昭和大病院

入院棟

中原街道

お問い合わせ・ご予約は
三井住友銀行 旗ノ台支店
東京都品川区旗の台1-4-15
TEL. 03-3785-3012





日本調剤

全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社（本社：東京都千代田区丸の内、東証プライム市場上場）は、全国 47 都道府県で 700 以上の調剤薬局を展開している企業です。

2024.4.11

優秀5サークルを表彰、
新規1サークルを認定

4月11日、令和5年度優秀サークル表彰式および令和6年度新規公認サークル認定通知授与式を上條記念館 富士桜にて開催した。

優秀サークルとして5サークルが表彰され、小口勝司理事長から表彰状と金一封が贈呈された。また、新規公認サークルとして1サークルに認定通知が授与された。

そして、各サークルの代表者多数が参加し懇親会が行われ、新規公認サークルの代表者から設立の趣旨や今後の活動に対する意気込みについて発表があった。続いて、優秀サークルの各代表者より、昨年度の活動、さらに今後の活動計画について報告があった。

昭和大学職員公認サークルは、種々様々な学内交流を通じて、職員同士が職種を越えて親睦を深めることを目的に、平成23年度に設けられた。現在は66サークルが認定され、活動している。

令和5年度 優秀サークル

サークル名	活動内容
茶道サークル	茶道
上條会MAO's	アイスホッケー
アロマ&リラクゼーション	アロマテラピー
のどごしグルメ研究会スワローズ	嚙下食
昭和大学合唱団 Sincere Choir	合唱

令和6年度 新規公認サークル

サークル名	活動内容
モルックサークル	モルック



優秀サークル表彰(茶道サークル)

サークル名	昭和大学合唱団 Sincere Choir
所属人数	40名
活動日	毎月1〜2回(平日または土曜)
代表者名	田中 大介
問い合わせ先	suc@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8282
紹介文	当団は2011年の誕生以来、学生、現役職員、OB・OG、昭和大学に縁のある皆様と歌い続け、施設や職種を超え、かけがえの無い『絆』を育んできました。2023年11月は昭和大学創立95周年式典と記念会で、上條メモリアル合唱団、グリークラブとともに「いざ起て戦人よ」、「大地讃頌」、「Believe」、「昭和大学応援歌」を合唱し、12月には昭和大学病院の院内コンサートで患者様とX'masの唄で楽しいひとときを過ごしました。創立100周年に向けて活動予定です！皆様、是非一緒に歌いませんか？楽しいですよ♪

式典・行事 | サークル

サークル名	茶道サークル
所属人数	18名
活動日	原則毎月第4月曜日(8月はお休み)
代表者名	井上 水和
問い合わせ先	昭和大学国際交流センター 平泉 由香 kahiraizum@ofc.showa-u.ac.jp
紹介文	毎月1回表千家の先生を招き、お点前やお客ぶり等を通して、季節感を楽しみつつ、茶道のおもてなしの心を学んでいます。未経験者の方でも、歩き方やお辞儀の仕方、そして割檜古(お点前の一部分毎を練習)を行い、一通りのお点前を行えるようになります。



初檜古

サークル名	上條会MAO's
所属人数	54名
活動日	交流戦(月1回)、大会(9月〜3月)
代表者名	金森 捷太
問い合わせ先	kanamori@cmed.showa-u.ac.jp
紹介文	月1回、昭和大学アイスホッケー部との交流戦を行っています。神奈川県リーグに所属し、大会にも参加しています。9月からシーズンが始まり、試合は、月1、2回程度です。部員は全附属施設のスタッフで多職種です。昨年度は40周年記念に新ユニフォームを作成しました。経験者、未経験者を問わず新入部員を募集しています。実際にアイスホッケーを見てみたい方、一緒にプレーをしたい方、お気軽にお声掛けください。



新ユニフォーム(紺色)での現役交流戦

サークル名	アロマ&リラクゼーション
所属人数	28名
活動日	平日昼休み
代表者名	烏山病院 内田 侑里香
問い合わせ先	yurika.u@cmed.showa-u.ac.jp
紹介文	平日のお昼休みを利用し、テーマに沿ってハーブティーとアロマオイルについての学習や、参加メンバーの体調にあわせて、ハーブティー、アロマを選択し試しています。また、烏山病院内花壇にて様々なハーブの栽培も行っています。リラックスしたい方は是非ともお気軽にご参加いただければと思います。おいしいハーブティーを頂きながら、お喋りをしてリラックスしませんか？



活動の様子

サークル名	のどごしグルメ研究会スワローズ
所属人数	36名
活動日	毎月第一水曜日
代表者名	笠井 史人
問い合わせ先	fumihito@med.showa-u.ac.jp
紹介文	嚙下は英語でswallowです。スワローズでは「のどごし」に拘ったグルメを研究しながら楽しみます。のどごしの美味しい食材を、如何により美味しく、高齢者や障害者にも安全に楽しめるのか検討します。毎月のテーマ(食材や調理法)を決め、一か月かけて研究します。実際にメンバーで食材を買ったり、お手本となる料理を食べに行き情報を集め、お料理の改良や開発をしながらプロダクト(アイディアやレシピなど)を形にしていきます。



活動の様子

2024.3.8

「周年事業」というテーマも設けて協議
包括連携協定大学6校が一堂に会する

3月8日、包括連携協定を締結している大学が一堂に会する「学校法人昭和大学包括連携協定大学連絡協議会」を旗の台キャンパスで開催した。

本会は、今後の円滑な活動の推進を図るとともに、新たな連携・協力について協議することを目的として開催している。昨年に引き続き、4回目の開催となった。

本学はこれまでも各大学とさまざまな連携・協力関係を構築しており、特別講演、江東豊洲病院への作品展示、入職式等における公演の協力を依頼している。

また、協定校から附属病院での実習学生の受け入れや連携講座の開講、各大学との共同研究を実施している。今後も更なる連携活動の強化を図っていく。

【包括連携協定大学】

- ・学校法人五島育英会東京都市大学
- ・学校法人京都橘学園
- ・学校法人多摩美術大学
- ・学校法人洗足学園
- ・学校法人日本体育大学
- ・学校法人東京農業大学



1 協議会の様子 2 学校法人昭和大学を代表して小口理事長より挨拶と報告 3 4 意見交換会の様子

2024.3.28〜31

昨年に続き2年連続での受賞
日本薬学会より学生優秀発表賞

薬学研究科4年(当時)の丸山真一さん(生体分析化学分野、済生会横浜市東部病院薬剤部)が、日本薬学会第144年会(3月28日〜31日:パシフィコ横浜)において、演題名『進行性腎

細胞癌患者におけるカボザンチニブの血中濃度モニタリングの有用性』で発表し、学生優秀発表賞(口頭発表の部)を受賞した。

左から、加藤大教授(薬学部基礎薬学講座生体分析化学部門)、丸山真一さん



2024.4.26

昭和大学連携病院・
協定病院連絡協議会を開催

4月26日、旗の台キャンパスにおいて、本学の連携病院・協定病院となっている各施設の代表者が一堂に会し「昭和大学連携病院・協定病院連絡協議会」を開催した。

この会は、連携に関する情報交換、連携協力のあり方や人的交流の促進についての協議を行うことを目的として、年に1度開催している。

8回目となる今年は、連携病院4病院と協定病院4病院の計8病院から病院長や事務長ら24名、本学関係者24名、計48名が出席した。

今後も更なる連携活動の強化を図っていく。

本学の連携病院・協定病院は以下のとおり。

【連携病院】

- ① 日本赤十字社 山梨赤十字病院
- ② 地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院
- ③ 国民健康保険 富士吉田市立病院
- ④ 社会医療法人愛宣会 ひたち医療センター

連携 | 貢献



1 委員長挨拶：小出良平総括病院担当理事 2 協議会の様子 3 4 意見交換会の様子

【協定病院】

- ① 小田原市立病院
- ② 公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院
- ③ 医療法人五星会 菊名記念病院
- ④ 社会福祉法人あそか会 あそか病院

医師会アワード「Persons of the year」「Young Investigator Award」選出

昭和大学医師会主催の表彰制度である「Persons of the year」「Young Investigator Award」の令和5年度表彰が行われた。

Persons of the yearでは、本学旗の台キャンパスおよび昭和大学病院、附属東病院に勤務する職員を対象に診療・教育・研究・事務作業などで卓越した貢献者に感謝の意を表して1名が選出された。多職種間で協働する環境において職員の活躍に注目し、活性化が望まれる。



1 (左から) 谷本翔太助教、相良博典会長 2 (左から) 小林梢兼任講師、副島賢和准教授、相良博典会長

【表彰者】 ※敬称略

Persons of the year

昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授
昭和大学附属病院内 さいかち学級
副島 賢和

Young Investigator Award

昭和大学横浜市北部病院 麻酔科 助教 谷本 翔太

昭和大学女子アイスホッケークラブ ブルーウィンズ Bグループ優勝祝賀会を開催 来季からトップグループに参加へ

5月18日、上條記念館 富士桜にてアイスホッケーのクラブチーム「ブルーウィンズ」の全日本女子アイスホッケー選手権大会B優勝を記念し、祝賀会を開催した。

三邊武彦チーム代表より挨拶とチーム成績報告があり、挨拶では、「本チームは、2018年に学校法人昭和大学のクラブチームとして発足しました。選手が十分にそろわないこともありましたが、昨年は全日本女子アイスホッケー選手権大会でCグループ優勝、そして今年はBグループに昇格して優勝することができ、来季は同大会トップのAグループに参加できるようになりました。優勝することができたのはひとえに皆様のおかげだと感じております」と述べた。

クラブは今後、横浜市長杯兼全日本女子アイスホッケー選手権



1 選手代表挨拶：獅子内美帆選手 2 三邊代表によるチーム成績報告 3 記念撮影

大会（C）神奈川県予選会に出場して10月12日にその初戦に臨む。同大会を勝ち抜き全日本女子アイスホッケー選手権大会（A）での優勝を目指して、練習に励んでいく。

唾液腺オルガノイドに関する研究が選定

田中準一准教授（歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門）は、文部科学省が設ける科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手研究者賞」において、業績名「唾液腺オルガノイドを用いた唾液腺新規治療法開発の研究」が選定され、4月17日に文部科学省庁舎にて授賞式が行われた。同賞は萌芽的な研究、独創的視点に立つ

【田中準一准教授のコメント】

この度は、このような栄誉ある賞を授与いただき大変光栄に存じます。本賞の受賞対象者は生物科学のみならず人文学や工学など多岐にわたり、歯学研究領域からのこれまでの受賞者は私で7人目となります。本賞の受賞により足掛け12年の自分の研究が評価されたことはもちろんですが、研究室として目指している

田中準一准教授



た研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた40歳未満（出産・育児により研究に専念できない期間があった場合は、42歳未満）の若手研究者が対象となっている。

唾液腺再生医療の可能性が認められたことを大変嬉しく思います。本賞の受賞にあたってご推薦いただいた、当部門の美島健二教授、馬場一美歯学部長、大庭伸介教授（大阪大学）、岡野栄之教授（慶応大学）、そして私の研究活動に当たり多くのご指導とご助力をいただいた学内外の共同研究者の皆様に関心より感謝申し上げます。

大学院留学生 ウェルカムパーティー

5月28日、昭和大学上條記念館富士桜にて、大学院留学生ウェルカムパーティーを開催した。

今回、大学院留学生として迎えた9名は、それぞれコンゴ民主共和国、モンゴル、ミャンマー、マダガスカル、中華人民共和国、ルーマニアの6か国の出身。

当日は、各大学院留学生の出身国の駐日大使館関係者をお招きし、5年ぶりに参集形式で開催した。

冒頭、久光正学長、上條由美副理事長および各大使館関係者による挨拶があり、宮崎隆国際交流センター長の乾杯をきっかけとして、大学院留学生たちは、大使館関係者や本学教育職員、学部留学生等との交流を大いに深めた。

また、大学院留学生は、英語や日本語などを交えて自己紹介を行い、本学での研究・研修の意気込みを語った。



1 歓談の様子 2 乾杯：宮崎隆国際交流センター長 3 記念撮影



大学院留学生は、これから昭和大学の各施設で学修・研究に励む。

ワライラック大学（タイ）より看護学部生と教員が来校し交流

保健医療学部の協定校であるタイのワライラック大学から、看護学部の学生6名と教員6名が来校し、5月5日から10日までの6日間、昭和大学旗の台キャンパス、横浜キャンパスおよび江東豊洲病院で研修を行った。

修了式では、ワライラック大学の学生が衣装を着けてタイダンスを披露した。前年度にワライラック大学で研修を受けた本学学生との久しぶりの対面もあり、互いに親交を深める素晴らしい機会となった。



1 横浜キャンパス：記念撮影 2 国際交流センター：茶道体験

会となった。

8月には本学学生と教育職員がワライラック大学を訪問する交換プログラムが実施される。

認定看護管理者教育課程 ファースト・セカンドレベル開講式

2024年度認定看護管理者教育課程のファーストレベルおよびセカンドレベルの開講式を5月17日と6月14日、オンラインで開催した。

ファーストレベル開講式では、小川良雄リカレントカレッジプリンシパルが「皆さんは本日から117時間の研修の中で、難しい課題に取り組まれることと思います。スタッフが全力で応援しますので7月の最後には笑顔で修了されることをお祈りしております。オンラインを通じて全国から一緒に学修できることを喜ばしく思います」と告辞を述べた。

セカンドレベル開講式では、増田千鶴子看護キャリア開発・研



1 ファースト開講式告辞：小川良雄プリンシパル 2 セカンド開講式挨拶：増田千鶴子看護キャリア開発・研究センター長

究センター長が「本課程の教育目的は、看護管理者としての基本的責務を遂行するために、必要な知識・技術・態度を習得することです。あらゆる事態においても、現場をマネジメントするためには、皆さんの知識と技術を高める必要があります。この課程で多くの学びを得てほしいと思います。専任教員、事務も含め、これから39日間全力でサポートするので一緒に頑張っていきたい」と挨拶を述べた。

父兄会総会を開催 昨年を超える約450名が出席

6月8日、2024年度昭和大学父兄会総会を上條記念館で開催し、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生の保護者約450名が出席された。

総会は橋本幹生父兄会長と久光正父兄会名誉会長の挨拶で始まり、前年度の父兄会・父兄互助会の決算報告や今年度予算および事業計画、役員交代についての議案説明があり、全ての審議事項について承認された。新父兄会長には、美島健二会長が就任した。

また、昭和医科大学への校名変更に伴い、2025年4月より、父兄会の名称を「昭和医科大学学生後援会」とし、父兄互助会は「昭和医科大学学生互助会」とすることが提案され、審議の結果、承認された。

総会終了後は、各学部に分かれて部会が開催され、カリキュラムや学生生活などさまざまな事項が、学部長をはじめとする担当



1 橋本幹生父兄会長挨拶 2 医学部部会 3 歯学部部会
4 総会の様子 5 薬学部部会 6 懇親会の様子

教育職員から説明された。

各部会終了後、地下1階富士桜（バンケットルーム）にて懇親会が行われ、冒頭には美島健二父兄会長から新任の挨拶があった。多くの保護者の方が参加され、教育職員も交えて親睦を深めていただいた。

春期公開講座 計579名が参加

春期公開講座「暮らしと健康」が5月から6月にかけて各施設で開催された。各講演終了後には、参加者から多数の質問があり、講師は一つひとつ丁寧に答えていた。次回の昭和大学公開講座は秋期の開催を予定している。

旗の台キャンパス

開催日程	5月11日、25日	参加者数	244名
講演内容	5月11日 「最新の認知症医療 ～予防と治療の調和が拓く新たな道～」 黒田岳志講師（医学部内科学講座脳神経内科学部門） 「認知症の理解と予防 ～日々の生活の工夫から～」 増山英理子准教授（保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻）		
	5月25日 「認知症の人とその家族が生き活きと暮らすために ～看護の視点から～」 西村美里講師（昭和大学認定看護師教育センター認知症看護分野） 「認知症は薬で治る？ ～認知症治療薬の違いと使い分け～」 藤原久登准教授（薬学部病院薬剤学講座：昭和大学藤が丘病院薬剤部長）		

横浜キャンパス

開催日程	6月15日	参加者数	37名
講演内容	「認知症ってどんな病気？ 家族の接し方のポイント」 西村美里講師（認定看護師教育センター） 「知っておきたい地域のリソース ～相談窓口・制度のこと～」 石山奈緒佳ソーシャルワーカー（藤が丘病院）		



富士吉田キャンパス

開催日程	5月25日	参加者数	81名
講演内容	「当地区の医療状況と最高の人生を送るために」 刑部光太郎先生（富士吉田医師会顧問） 「昭和大学周辺の植物 ～テンナンショウの不思議な生態～」 柿嶋聡講師（富士山麓自然・生物研究所）		

横浜市北部病院

開催日程	5月11日	参加者数	会場31名、オンライン74名、延べ105名
講演内容	「自分のため、大切な人のために知っておきたい 乳がんにつけないための3つのコツ」 千島隆司教授（乳腺外科） 「これからの認知症ケア」 富岡大准教授（メンタルケアセンター）		

江東豊洲病院

開催日程	6月8日	参加者数	112名
講演内容	「飲み込みに大事な歯とお口の健康」 鎌谷宇明准教授（外科系診療センター病院歯科） 「のどを鍛えて誤嚥を防ぐ」 木村百合香教授（外科系診療センター耳鼻咽喉科）		

再生医療を活用した世界初の試み がんの新規治療法確立を目指し 医師主導治験の実施を決定

4月26日、昭和大学病院腫瘍内科による記者発表が開かれ、がん患者さんを対象とした「間葉系幹細胞」を用いる医師主導治験の実施を決定したことが発表された。発表では、現在のがん治療である外科治療、放射線治療、化学療法、免疫療は、4大治療にもかかわらず十分ではないことが挙げられた。そこで、新たに間葉系幹細胞を用いたがん治療法の開発を進めることにより、がんが進行した患者さんの完治する割合をより高めることができる効果について説明がされた。

本医師主導治験は、免疫チェックポイント阻害薬が無効（耐性）になった、つまり一次治療の効果が得られなかった患者さんに対



記者発表の様子

象とする。再生医療である間葉系幹細胞を用いることで、免疫チェックポイント阻害薬の耐性を解除し、再活性化させるという、世界で初めて“再生医療を活用したがん治療法の確立”の試みであることが示された。

治験の対象者は最大20名（免疫チェックポイント阻害薬治療後のがんの増大を認める非小細胞肺がん、食道がん、胃がん等の患者さん）、期間は2024年5月から2026年1月までを予定。

日本外科学会学術総会で優秀演題賞 腸閉塞における術後合併症の リスク判断につながる指標を報告

松根佑典助教（医学部外科学講座消化器一般外科学部門 専攻医）が、第124回日本外科学会定期学術集会（4月18日～20日：愛知県国際展示場（AICHI SKY EXPO））において、演題名『腸閉塞患者に対するPsoas muscle thickness per height (PMTH) と術後合併症に関する検討』で、優秀演題賞（研修医・専攻医セッション）を受賞した。日本外科学会定期学術集会は外科学分野における日本で最大の学術集会。今年は『わが国の資源で持続可能な外科診療を考える』というテーマで開催された。

【松根佑典助教のコメント】

今回は腸閉塞で緊急手術を施行した症例を対象に、術前CTで評価した腸腰筋の厚さと身長から求めたPMTHという指標に着眼

し、呼吸器合併症発生との相関関係について検討を行いました。PMTHはサルコペニアのスクリーニングとして有用な値であり、大腸癌や肝癌などの悪性腫瘍における術後合併症や予後に関連するとされています。しかしながら、腸閉塞などの腹部救急疾患においては未だ検討がされておらず、今回の研究テーマとしました。本研究結果をもとに呼吸器合併症の高リスク症例を抽出し、リハビリテーションやコメディカルスタッフとの連携を深め、患者さんの早期退院への一助となればと考えております。

（左から）松田和広講師、松根佑典助教、青木武士教授



全国医学部長病院長会議の会長に就任 本学からの就任は上條一也医学部長（当時）以来44年ぶり

5月31日、相良博典 昭和大学病院長が全国医学部長病院長会議（AJMC）の第55代会長に就任した。任期は、令和6年から令和8年までの2年。

本学では、上條一也医学部長（当時）が第15代会長（昭和55年～昭和56年）を務めて以来、44年振りの就任となる。

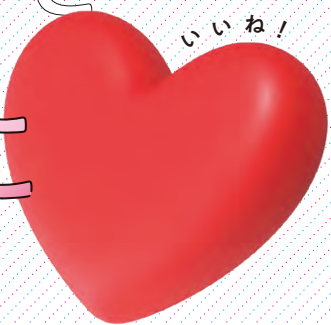
全国医学部長病院長会議（AJMC）は、全国の国公私立大学

の医学部長（医科大学長）、大学病院長を会員とする唯一の団体。医育機関共通の教育、研究、診療の諸問題、これに関連する重要事項について協議し、相互の理解を深めるとともに意見の統一をはかり、わが国における医学並びに医療の改善向上に資するために活動している。

相良博典 昭和大学病院長



昭和大学の看護専に



昭和大学には、医学部の附属校として看護専門学校があります。
90年以上の歴史があり、昭和大学医学部と連携しながら、
高度医療の最前線を担う人材を養成し続けています。

今まさに学んでいる学生に、
学校生活や目指す未来を聞いてみました♪

合格率に

医学部との合同プログラムや
担当教員のサポートで確実に資格取得

国家試験合格率

約99%

※令和4～6年度の通算実績
(受験者数413名中408名が合格)

費用に

短期集中で、学納金だけでなく
奨学金や寮の手厚いサポート

学納金が3年間で

130万円

※入学金+授業料・実習費の3年分合計
(教科書代・校服費は別)

進路に

大学病院への就職実績だけでなく
昭和大学看護学科への編入学も

就職率

96%

進学率

4%

実習先に

臨床指導看護師は卒業生が多く親身に指導、
大学病院での実習で実践力が身に付く

本学附属

7病院

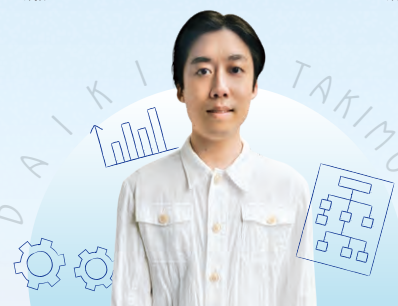


2年
藤田玲乃さん

患者さんが日常に戻るまで
寄り添える看護師を目指す

子どもの頃から医療職に就きたいという思いがあり、患者さんがもとの生活に戻るまでの過程に関われたらと看護師を志しました。この学校を選んだのは、昭和大学の附属で高度医療を提供する病院が複数あるので、チーム医療を学べると期待からです。ほとんどの先生は看護師として働いていた方で、経験談も交えて親身に指導してくださるので、とても勉強になります。

大学卒や社会人経験者など、さまざまな同級生がいるのも刺激になっています。いくつかの授業はオンデマンド形式なので、自分の時間に合わせて勉強できるのもいいですね。私の理想は、患者さんが気兼ねなく声をかけやすい看護師です。そうなれるように、看護補助員のアルバイトでは日々笑顔を決めず、患者さんとのコミュニケーションを大切にしています。



3年
滝本大生さん

祖母の入院がきっかけで
エンジニアから看護師へ

以前はエンジニアをしていました。看護師を目指したきっかけは、3年ほど前に祖母が入院したときに、祖母の心の支えになってくださった看護師と出会ったことです。エンジニア時代は、部署内で幅広い年代の方とチームを組んで仕事をしていた、その経験は授業や実習で他者とコミュニケーションを取ることに生かしています。学ぶことが好きなので、これまでの知識を積み重ねていきたいと考えています。

2年生までは、デパ地下でレジのアルバイトもしていました。学校の勉強との両立は大変なときもありましたが、年配のお客様が多く、接客を通して高齢者の方への対応を学ぶことができたのはよかったです。卒業後は、患者さんの気持ちに寄り添い、一人ひとりの患者さんに合った看護を提供できる看護師になりたいと思っています。



保健医療学部 看護学科4年
(看護卒業後、3年次編入学)
高見真由さん

学びをより深めるために、
専門学校から大学に編入

東日本大震災のとき、地元・福島で看護師の方々が被災者の心のよりどころになっている様子に感動して、看護専門学校に進学しました。編入した理由の一つは、大学で学ぶことで選択肢が広がったからです。また、専門学校時代に子ども食堂でボランティアをした経験から、保健師は年々増えている児童虐待などの社会問題を未然に防げる可能性がある職業だと考え、保健師課程を選ぶことに魅力を感じました。

看護師のライセンスを持った上で大学で学ぶのは、自信にもプレッシャーにもなりましたが、専門学校で身につけた知識を振り返りながらより深く学べたと思います。来年の春からは、いよいよ看護師デビューです。将来は保健師の資格を生かして、地域の保健師や産業保健師なども目指せたいと考えています。

2年 藤田玲乃さんに聞きました！



動きやすい実習着は
2022年にリニューアルしました



学校では、いつも仲のいい5人組で行動しています。私以外の4人は大学卒で、幅広い知識や考え方は私にとって勉強になっています。でも、年齢は違っても話は合うんですよ(笑)



講義形式の科目でよく利用する、1学年4クラスが入る広い演習室です



昭和大学医学部附属看護専門学校
〒142-0064 東京都品川区旗の台1-2-26 TEL:03-3784-8097

藤田さんの、とある1日は…

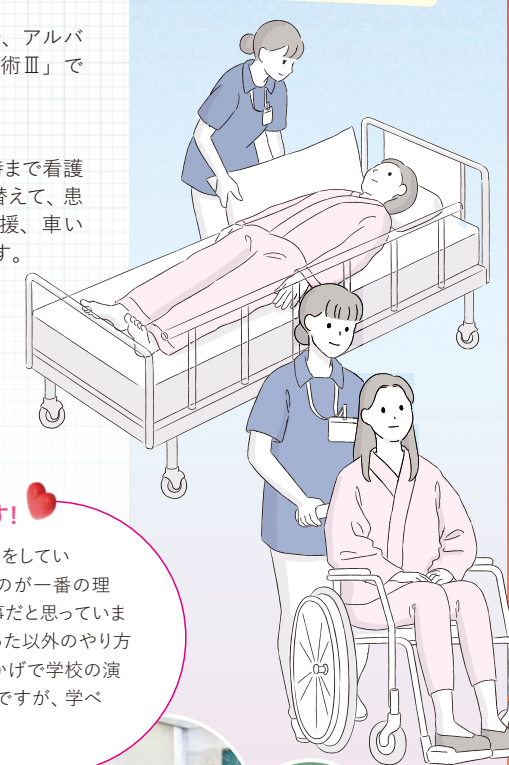
- 8:30 登校。授業開始ギリギリにならないように、30分前には学校に着くようにしています。
- 9:00 午前中は「看護基本技術Ⅲ」と「医療安全Ⅰ」の2科目。どちらも座学形式です。教科書や資料はすべてタブレットで見るので、タブレットは必須！忘れたら大変です。
- 12:10 お昼休みは、演習室で友達とランチ。近くのコンビニで買うこともあります。自分でおにぎりを作って持っていく日も。
- 13:00 午後は「看護基本技術Ⅱ」と「成人看護援助論Ⅰ」の2科目。「成人看護援助論Ⅰ」では演習もあり、この日は手術から戻ってきた患者さんのベッドセッティングや術後の援助の方法などを実践的に学びました。
- 16:30 大学の1号館にあるカフェテリアで、アルバイトの時間まで自習。「看護基本技術Ⅲ」で出た宿題に取り組みました。
- 18:00 昭和大学病院附属東病院で、22時まで看護補助員のアルバイト。実習着に着替えて、患者さんの食事介助やトイレ歩行支援、車いすの移乗・移動の補助などをします。
- 23:00 帰宅。お風呂に入って夕飯を食べて、0時半には就寝。ぐっすり眠って疲れを取って、明日も6時に起きて学校に行きます！



駅から学校までの通学路は、春になると並木の桜が満開に。ピンク色の花びらで埋め尽くされた道を歩いていると癒されます



自宅学習やオンデマンド授業のときには、ノートPCを使っています。教科書は、かさばる紙より電子テキストが便利なので、家でもタブレットで見ることが多いですね



看護補助員のアルバイトは 学校での学びにも役立っています！

平日の夕方や週末に、看護補助員のアルバイトをしています。奨学金返還のためにお金を貯めたいというのが一番の理由ですが、看護師を目指す上で経験を積むことが大事だと思っています。患者さんは一人ひとり状況が違うので、授業で習った以外のやり方を求められることもあります。逆に、アルバイトのおかげで学校の演習がスムーズにできたことも。勉強との両立は大変ですが、学べることも多くやりがいがあります。

イベント情報

▶ オープンキャンパス & 個別相談会

8/4(日) 8/24(土)

模擬授業や看護体験のほか、在校生に直接質問できるブースも設置します

▶ いぶき祭(学校祭)

10月開催予定
旗ヶ岡祭(大学祭)と同時開催



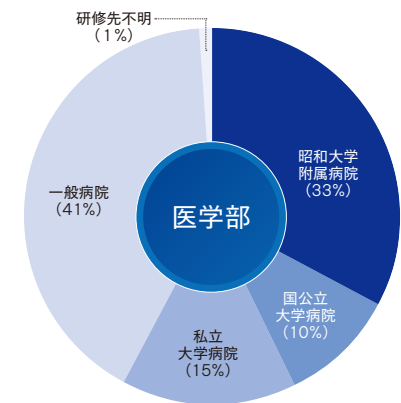
事前の申し込みは不要です！
詳細情報はHPをご覧ください



令和5年度

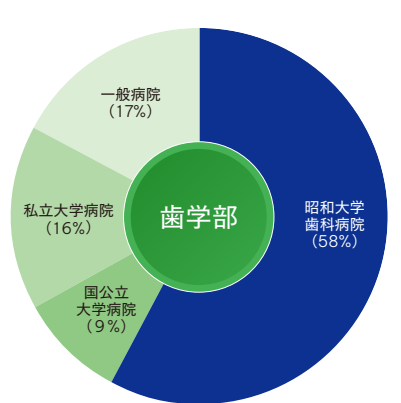
卒業生の進路状況

令和5年度昭和大学医・歯・薬・保健医療学部を卒業した学生を対象に実施した進路先調査の結果。例年と同様、国家資格を活かした医療機関への就職の他、教育・研究や後進指導を視野に入れた進路選択が傾向として顕著に見られた。



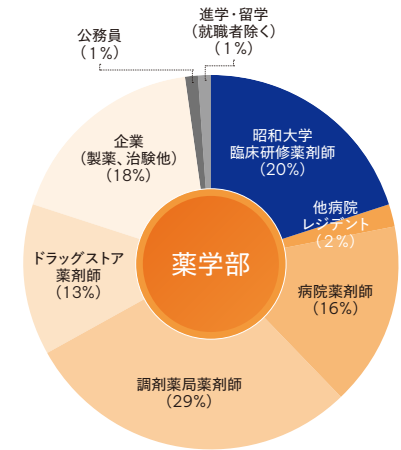
【主な研修先】

昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、東京医科歯科大学病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、金沢大学附属病院、筑波大学附属病院、浜松医科大学医学部附属病院、横浜市立大学附属病院、琉球大学病院、慶應義塾大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京慈恵会医科大学附属病院、獨協医科大学埼玉医療センター、杏林大学医学部付属病院、国際医療福祉大学病院成田病院、埼玉医科大学病院、自治医科大学附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、順天堂大学医学部附属静岡病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、日本医科大学千葉北総病院、足利赤十字病院、海老名総合病院、亀田総合病院、さいたま市立病院、彩の国東大宮メディカルセンター、湘南鎌倉総合病院、聖隷三方原病院、中東遠総合医療センター、済生会横浜市東部病院、さいたま赤十字病院、千葉ろうさい病院、虎の門病院 他



【主な研修先】

昭和大学歯科病院、東北大学病院、徳島大学病院、東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院、信州大学医学部附属病院、九州大学病院、横浜市立大学附属病院、神奈川歯科大学附属横浜クリニック、神奈川歯科大学附属病院、愛知学院大学歯学部附属病院、慶應義塾大学病院、鶴見大学歯学部附属病院、東京歯科大学市川総合病院、日本歯科大学附属病院、日本大学医学部附属板橋病院、赤羽歯科、うけがわ歯科川口駅前医院、今井歯科EAST、亀田総合病院、小机歯科医院、たば歯科医院、中東遠総合医療センター、東京都立荏原病院、姫路赤十字病院、松代歯科医院、三井記念病院、横浜市立みなと赤十字病院 他



【主な就職先・進路先】

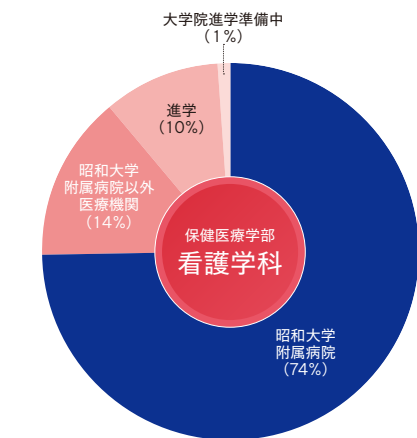
病院薬剤師…昭和大学臨床研修薬剤師、国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、順天堂大学医学部所属順天堂医院、さいたま赤十字病院、東京西徳洲会病院 他

調剤薬局…アイングループ、日本調剤(株)、(株)ユニスマイル、クオール(株)、総合メディカル(株)、(株)フォーラル 他

ドラッグストア…ウエルシア薬局(株)、(株)サンドラッグ、(株)トモズ、(株)カワチ薬品、(株)杏林堂薬局、(株)クロスリのアオキ、(株)クリエイトエス・ディー、(株)ココカラファインヘルスケア、(株)スギ薬局、(株)マツモトキヨシ 他

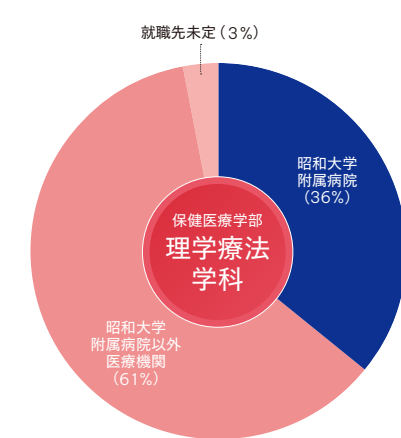
企業…IQVIAサービシーズジャパン(株)、シミック(株)、イービーエス(株)、(株)メディサイエンスプランニング、Meiji Seika ファルマ(株)、アストラゼネカ(株)、エーザイ(株)、グラクソ・スミスクライン(株)、(株)ソムラ、持田製薬(株)、(株)太田胃散、日本イーライリリー(株)、日本新薬(株) 他

公務員…厚生労働省地方厚生局麻薬取締部



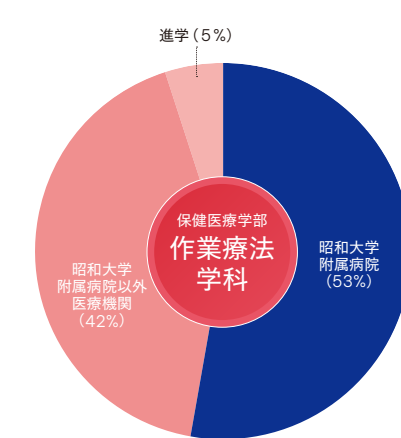
【主な就職先・進路先】

昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学病院、昭和大学附属東病院、昭和大学江東豊洲病院、横浜市東部病院、井の頭病院、神奈川県立がんセンター、神奈川県立こども医療センター、慶應義塾大学病院、東海大学付属病院、東京医科大学病院、東京大学医学部附属病院、東京都立墨東病院、東京都立豊島病院、日本赤十字社医療センター、横浜市立市民病院、昭和大学助産学専攻科、湘南医療大学助産学専攻科、帝京大学助産学専攻科、あびこ助産師専門学校助産学科 他



【主な就職先】

昭和大学病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学附属東病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、座間総合病院、海老名総合病院、あそか病院、大田病院、大森赤十字病院、河北総合病院、河北リハビリテーション病院、新松戸中央総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、医療法人社団 鎮誠会、東京労災病院、戸塚共立いずみ野病院、八王子スガーツ整形外科、広島大学病院、松宮整形外科、山手クリニック、横浜旭中央総合病院、横浜新都市脳神経外科病院、横浜労災病院 他



【主な就職先】

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学附属鳥山病院、株式会社いでしたケアサービス、蒲田リハビリテーション病院、五反田リハビリテーション病院、湘南鎌倉総合病院、昭和伊南総合病院、東京さくら病院、日本医科大学附属病院、みどり野リハビリテーション病院 他

令和5年度

私立大学等経常費補助金交付状況

日本私立学校振興・共済事業団は令和6年3月、私立の大学、短期大学、高等専門学校に交付する令和5年度の経常費補助金が、2,976億1,697万5千円になると発表した。私立大学等経常費補助金は、①私立大学等(私立の大学・短期大学・高等専門学校)の教育研究条件の維持向上、②学生の修学上の経済的負担の軽減、③私立大学等の経営の健全性向上に資するため、日本私立学校振興・共済事業団が国から補助金の交付を受け、これを財源として全額、学校法人に対して設置学校の経常的経費について補助するもの。この補助金には、各学校における教職員数や学生数等に所定の単価を乗じて得た基準額を教育研究条件の状況に応じ傾斜配分する「一般補助」と、教育研究に関する特色ある取組に応じ配分する「特別補助」がある。令和5年度は、大学585校、短期大学256校、高等専門学校2校の計843校に交付され、本学は57億2,417万9千円(前年比2億5,728万8千円減)と、大学では3番目に多い交付額だった。

大学585校 (千円)				
順位 (前年)	大学名	一般補助	特別補助	補助金合計
1 (1)	早稲田大学	7,594,941	1,138,047	8,732,988
2 (2)	慶應義塾大学	7,425,087	586,268	8,011,355
3 (3)	昭和大学	5,454,649	269,530	5,724,179
4 (6)	東海大学	5,459,755	236,322	5,696,077
5 (4)	立命館大学	5,099,285	442,626	5,541,911
6 (5)	順天堂大学	5,040,196	474,965	5,515,161
7 (8)	近畿大学	4,030,155	302,302	4,332,457
8 (7)	北里大学	3,676,477	317,240	3,993,717
9 (9)	福岡大学	3,430,147	200,623	3,630,770
10 (11)	帝京大学	3,248,347	307,588	3,555,935
11 (10)	東京理科大学	3,284,829	254,398	3,539,227
12 (13)	関西大学	2,874,099	434,125	3,308,224
13 (14)	藤田医科大学	3,013,478	133,902	3,147,380
14 (12)	東京慈恵会医科大学	2,979,125	118,494	3,097,619
15 (49)	中央大学	2,714,458	366,227	3,080,685

2024年度秋季・2025年度春季
大学院入学試験要項 決定

2024年度秋季・2025年度春季大学院入学試験要項を公開し、2024年度秋季・2025年度春季Ⅰ期入試の出願がスタートした。

※入学時期 秋季：2024年10月 春季Ⅰ期・Ⅱ期、春季：2025年4月

- ◆医学研究科(博士課程募集人員：60名)
- ◆歯学研究科(博士課程募集人員：22名)
- ◆薬学研究科(博士課程募集人員：15名)

	秋季・春季Ⅰ期	春季Ⅱ期
出願資格認定受付期間 (対象者のみ)	2024年6月3日(月)～6月13日(木)	2024年12月2日(月)～12月12日(木)
出願期間	2024年7月19日(金)～8月2日(金) 13時まで	2025年1月27日(月)～2月7日(金) 13時まで
試験日	2024年8月17日(土)	2025年2月22日(土)
合格発表	2024年9月5日(木) 16時	2025年3月6日(木) 16時

- ◆保健医療学研究科(募集人員 博士前期課程：20名、博士後期課程：6名)

	秋季	春季
出願資格認定受付期間 (対象者のみ)	2024年6月24日(月)～7月10日(水) 17時	2024年9月30日(月)～10月9日(水) 17時
出願期間	2024年7月22日(月)～8月14日(水) 17時	2024年10月7日(月)～10月30日(水) 17時
試験日	2024年8月24日(土)	2024年11月9日(土)
合格発表	2024年9月5日(木) 15時	2024年11月29日(金) 15時

学校法人昭和大学 決算の概要

令和5年度 学校法人昭和大学の決算は、令和6年5月24日の臨時理事会で承認され、同日の評議員会にて報告した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、日常生活がコロナ禍前に戻りつつある中で新型コロナ関係の補助金や診療報酬への加算が大きく減額となったが、病院全体での医療収入は予算を達成し、減額分を補うことができた。設備投資としては、教育環境を整備すべく、旗の台キャンパスの校舎の耐震補強工事を進め、富士吉田キャンパスには新男子寮を竣工した。附属病院の診療環

境の整備においては、横浜市北部病院でNICU・GCU小児病棟の改修工事を行った。また、都内附属病院電子カルテ統合計画の段階実施として、電子カルテ部門システムの放射線画像管理システム(PACS)を統合した。入院環境の向上のために各病院で患者用の無料インターネット無線接続設備(Wi-Fi)を導入した。外部資金の獲得は、私立大学等経常費補助金の交付額が前年度同様に全国3位を維持した。

1. 資金収支について

資金収支は法人の諸活動に対応する資金の動きを伴う収入支出の内容を示しております。当年度の資金収入は1,442億4,042万円（前年度繰越支払資金を除く）、資金支出は1,503億1,062万円（翌年度繰越支払資金を除く）で、支払資金は60億7,020万円の減少となりました。

収入の部の主要科目について予算と比較すると、学生生徒等納付金収入が6,540万円の減額、手数料収入が9,226万円の減額、寄付金収入が1億9,440万円の減額となりました。補助金収入は予算では見込んでいなかった新型コロナウイルス感染対策の補助金が3億3,000万円交付されたことにより、予算と比べて4億5,171万円の増額となりました。付随事業・収益事業収入は2億8,111万円の増額、医療収入は37億8,521万円の増額、雑収入は2億3,388万円の増額でした。

支出の部の主要科目について予算と比べると、人件費支出が7億5,013万円の減額で執行率は98.6%、教育研究経費支出が28億1,972万円の増額で執行率は104.6%となりました。この教育研究経費の中で大きな比重を占める、薬品費・医療材料費・給食材料費・医療委託費の支出からなる「直接医療経費」は医療収入の37.7%となりました。管理経費支出は12億9,856万円の減額で執行率は76.9%でした。また、土地、建物等の施設関係支出は予算に比べて5億1,583万円の減額で執行率は85.5%、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出は4億1,980万円の減額で執行率は91.2%でした。これら以外の科目では借入金等返済支出、資産運用支出等があります。

2. 事業活動収支について

事業活動収支は企業会計の損益計算に近いもので収支均衡状態を測定し、経営状況を明らかにするものです。諸活動の収入を合算した事業活動収入の合計は1,363億5,778万円となり、予算より58億6,613万円の増額となりました。科目ごとの金額は資金収支と重複しますので主要科目の構成割合を以下に示します。学生生徒等納付金は

7.1%、経常費等補助金は5.1%、医療収入は82.4%でした。資金の動きを伴わない現物寄付750万円が寄付金に計上されています。一方、事業活動支出の部合計は1,295億4,822万円となり、

令和5年度 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	9,689,560,000	人件費支出	53,102,801,932
手数料収入	319,265,640	教育研究経費支出	63,648,662,321
寄付金収入	650,723,043	管理経費支出	4,323,626,091
補助金収入	7,468,352,570	借入金等利息支出	121,225,382
資産売却収入	1,770,280,602	借入金等返済支出	1,731,390,000
付随事業・収益事業収入	2,315,937,689	施設関係支出	3,052,638,576
医療収入	112,364,170,489	設備関係支出	4,327,791,038
受取利息・配当金収入	297,583,048	資産運用支出	17,639,799,901
雑収入	1,830,211,996	その他の支出	14,014,729,844
借入金等収入	450,000,000		
前受金収入	1,929,892,746		
その他の収入	26,749,602,159		
資金収入調整勘定	△21,595,153,262	資金支出調整勘定	△11,652,040,352
前年度繰越支払資金	35,956,646,261	翌年度繰越支払資金	29,886,448,248
収入の部合計	180,197,072,981	支出の部合計	180,197,072,981

令和5年度 事業活動収支計算書

(単位:円)

教育活動収支	特別収支
事業活動収入の部	事業活動収入の部
学生生徒等納付金	9,689,560,000
手数料	319,265,640
寄付金	528,384,849
経常費等補助金	7,011,749,406
付随事業収入	2,138,107,875
医療収入	112,364,170,489
雑収入	1,786,966,512
教育活動収入計	133,838,204,771
事業活動支出の部	特別収支差額
人件費	53,443,351,332
教育研究経費	70,686,946,569
管理経費	4,915,250,871
徴収不能額等	35,396,116
教育活動支出計	129,080,944,888
教育活動収支差額	4,757,259,883
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	297,583,048
その他の教育活動外収入	1,302,759,834
教育活動外収入計	1,600,342,882
事業活動支出の部	
借入金等利息	121,225,382
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	121,225,382
教育活動外収支差額	1,479,117,500
経常収支差額	6,236,377,383

支出合計は予算より5億1,794万円の増額となりました。構成割合は、人件費41.3%、教育研究経費54.6%、管理経費3.8%となりました。なお、資金の動きを伴わない退職給与引当金繰入額20億4,962万円が人件費に、減価償却額76億6,374万円が教育

3. 貸借対照表について

令和6年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産（土地・建物・機器備品・特定資産他）と流動資産（現金預金・未収入金他）の資産の部合計は2,567億3,948万円で、前年度末と比べて39億5,461万円の増加となりました。主な変動要因として、有形固定資産では富士吉田キャンパスの蔵書を整理し、一部を除却したことで図書が1億5,652万円減少しました。特定資産は将来構想を実現するための積立金です。令和5年度も附属病院の協力を得て8種類の特定資産に84億7,536万円を繰り入れましたが、一部の特定資産を取り崩した結果、58億1,306万円の増加となりました。学内預金制度の資金は学内預金引当特定資産として、支払資金とは区分して保全管理し、8億4,501万円の増加となりました。支払資金にあたる現金預金は60億7,020万円の減少となりました。

一方、固定負債（長期借入金・退職給与引当金他）と流動負債（短期借入金・未払金他）の合計は454億17万円で、借入金を返済したため前年度

研究経費と管理経費に含まれています。基本金組入前当年度収支差額は68億956万円の収入超過、黒字となり、事業活動収支差額比率は4.9%でした。基本金組入額55億6,728万円を引いた当年度収支差額は、12億4,228万円の収入超過となりました。

末と比べて28億5,494万円の減少となりました。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は2,113億3,931万円で、前年度より68億956万円の増加となりました。

※本学は財務情報の公開の一端として、当法人の「利害関係者」に財務諸表等の閲覧を行います。また、昭和大学ホームページにも財務諸表を公開します。※当法人の財務諸表は、学校法人会計基準に則って作成しており、補助金交付の表示区分となっております。

(財務担当理事 中村 明弘)

貸借対照表

令和6年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	203,721,160,312	固定負債	26,508,514,893
有形固定資産	146,304,145,145	流動負債	18,891,657,304
特定資産	43,552,301,631	負債の部合計	45,400,172,197
その他の固定資産	13,864,713,536	純資産の部	
流動資産	53,018,327,882	基本金	316,004,200,416
		繰越収支差額	△104,664,884,419
		純資産の部合計	211,339,315,997
資産の部合計	256,739,488,194	負債及び純資産の部合計	256,739,488,194

令和6年度

科学研究費助成事業 交付内定

令和6年度の科学研究費助成事業の交付が内定し、本学は昨年度より13件多い338件が採択され、総計で3億9,818万円が交付される。同事業は、人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的としており、研究者の審査・評価を経て、採択課題が選定される。交付内定の各内訳は右のとおり。

令和6年度 総計 338件 398,180,000円

令和6年5月現在 (令和6年度転入者含む)

学部・研究所別内訳	件数	金額(円)	研究種目別内訳	件数	金額(円)
医学部	136	175,350,000	学術変革領域研究(A)	2	16,800,000
歯学部	84	104,700,000	基盤研究(A)	1	6,900,000
薬学部	45	45,830,000	基盤研究(B)	17	69,300,000
保健医療学部	36	31,800,000	基盤研究(C)	197	196,480,000
富士吉田教育部	4	7,600,000	挑戦的研究(萌芽)	1	1,500,000
臨床薬理研究所	7	10,200,000	若手研究(B)	1(※1)	0
先端がん治療研究所	5	3,200,000	若手研究	108	95,200,000
発達障害医療研究所	6	5,500,000	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	1(※2)	0
富士山麓自然・生物研究所	2	2,100,000	国際共同研究強化(B)	1	2,900,000
ストレスマネジメント研究所	1	1,100,000	研究活動スタート支援	9	9,100,000
メディカルデザイン研究所	1	600,000			
臨床疫学研究所	3	3,300,000			
昭和大学横浜市北部病院 消化器センター	1	1,700,000			
医学英語教育センター	2	2,000,000			
国際交流センター	1	200,000			
統括研究推進センター	3	1,800,000			
認定看護師教育センター	1	1,200,000			

※1:研究中断に伴う継続課題のため、今年度の配分金無し
※2:研究開始年度に全額入金有り

総務課大学広報係

「SHOWA UNIVERSITY NEWS」2025年1月号(新年号) 表紙写真の募集のお知らせ

新年号の表紙を飾る写真を募集します。皆さまからのご応募をお待ちしております。

【条件】◇デジタルカメラまたはスマートフォン搭載カメラで撮影されたデジタル画像(カラー・縮小していないもの)
◇ファイル形式:JPGまたはPNG
◇画素数:短辺2,000px、長辺3,000px以上のもの
◇風景写真(人物・絵画はNG) ◇自作未発表のもの
【備考】◇掲載時に誌面に合わせて写真をトリミング処理します
◇撮影後の写真について、合成等の過度な加工は選外になる場合がありますのでご注意ください

【応募方法・お問い合わせ】応募写真はメールへのデータ添付、もしくはファイル転送サービスをご利用ください。
◇氏名(ふりがな)、大学との関係(学生・職員・卒業生など)、撮影場所を明記。
※氏名、撮影場所を掲載しますのでご了承ください
◇締切 2024年10月25日(金)
◇送付先 学校法人昭和大学 総務部 総務課 大学広報係
メール:press@ofc.showa-u.ac.jp



学内会議報告

就任のお知らせ（4月9日 理事会承認）

医学部救急・災害医学講座担当 教授（員外）
【勤務地：昭和大学病院救命救急科】



八木 正晴

医学部救急・災害医学講座担当 准教授
任命日：令和6年4月9日

就任のお知らせ（5月14日 理事会承認）

昭和大学横浜市北部病院長



坂下 暁子

特任教授
現：横浜市北部病院副院長
任期：令和6年6月1日～令和8年3月31日

昭和大学細胞外マトリックス研究所長



宮崎 章

特任教授
任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

昭和大学病態分子生化学研究センター長



久光 正

現 学長
任期：令和6年5月1日～令和7年3月31日

お詫びと訂正

2024年4-5月号（第619号）のP19に掲載の「就任のお知らせ」記事において、掲載写真に誤りがありました。

正しくは以下の通りです。
ここにお詫びして訂正いたします。

就任のお知らせ（2月13日 理事会承認）

歯学部口腔生化学講座担当 教授



塚崎 雅之

東京大学大学院医学研究科 骨免疫学寄付講座 特任助教
任命日：割愛日

理事会関係

◆昭和大学細胞外マトリックス研究所 設置

【設置目的】細胞外マトリックス制御に重点を置いた先進的な医薬品開発および治療法の研究を推進するとともに、昭和大学発の新規治療法を創出し、その成果を通じて社会に貢献するため。

【設置日】 令和6年4月1日

【設置場所】 旗の台校舎1号館3階331号室（医学部生化学研究室）内

※研究機器は、新たに設置予定の「昭和大学病態分子生化学研究センター」と共有する。

【研究所長予定者】 宮崎 章 特任教授

◆昭和大学病態分子生化学研究センター 設置

【設置目的】 医系総合大学の特色を活かし、医学部生化学の分野や歯学部口腔生化学の分野の分子生化学領域の研究を行う研究者が、研究科の垣根を越えて知識を集結することで、研究活動の一層の活性化を図るとともに、機器・設備共有の合理化を進め研究環境の改善を図るため。

【設置日】 令和6年5月1日

【設置場所】 旗の台校舎1号館3階

◆昭和大学医学部鹿児島県地域離島精神医学寄付講座 設置

【設置目的】 鹿児島県大島郡南三島（徳之島・沖永良部島・与論島）地域の精神疾患の医療提供体制が非常に脆弱であることから、自治体からの寄付金を基に寄付講座を設置し、離島へき地精神医療体制の存続、発展ならびに精神疾患領域の研究を促進するため。

【設置日】 令和6年7月1日

【寄付講座の期間】 5年間 ※継続あり

◆昭和大学江東豊洲病院成人先天性心疾患室 設置

【設置場所】 循環器センター心臓血管外科に「成人先天性心疾患室」を設置する。

【設置日】 令和6年4月1日

◆昭和大学医療画像先進診断センター 設置

【設置目的】 昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院および昭和大学江東豊洲病院における放射線診断画像をどの施設からでも読影できる環境を整備し、業務効率化および医療の質の向上を図るため。

【設置場所】 昭和大学病院中央診療部門

【設置日】 令和6年4月1日

◆昭和大学保健医療学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）における総合型選抜入試および学校推薦型選抜入試の特待制度継続について

【趣旨】 特待制度により、1年次における学納金と寮生活費との重複による経済的負担を軽減し、志願者数の増加につなげ、入学定員の充足を目指す。

【内容】 初年次の授業料を免除
前期：525,000円、後期：525,000円
年間合計：1,050,000円

【対象】 リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）合格者のうち、以下入試区分で定める定員内の上位合格者
◇総合型選抜入試

理学療法学専攻：定員8名、作業療法学専攻：定員9名

◇学校推薦型選抜入試（公募・指定校・特別協定校）

理学療法学専攻：定員11名、作業療法学専攻：定員9名

合計：理学療法学専攻19名、作業療法学専攻18名

◆令和6年度学生数報告（令和6年5月1日現在）

学部・学科		在学生数
医学部	医学科	749名
歯学部	歯学科	590名
薬学部	薬学科	1,190名
保健医療学部	看護学科	428名
	理学療学科	71名
	作業療学科	32名
	リハビリテーション学科	99名
合計		3,159名
大学院		在学生数
医学研究科		289名
歯学研究科		108名
薬学研究科		108名
保健医療学研究科（博士前期課程）		44名
保健医療学研究科（博士後期課程）		22名
合計		571名
専攻科		在学生数
助産学専攻科		14名
専門学校		在学生数
医学部附属看護専門学校		454名

総合計：4,198名

◆能登半島地震災害義援金の募金活動終了について（報告）

能登半島地震災害義援金の募金活動を令和6年1月25日に開始して以来、本学各施設において学生・職員、患者さん等の多くの方にご協力いただいた旨の報告がなされた。今後の募金活動については、令和6年4月以降の募金状況が低調であることから、令和6年5月10日を以て終了することとなった。



・募金活動期間：令和6年1月25日～令和6年5月10日

・募金総額：723,854円 ※令和6年4月26日時点

・義援金送金先：日本赤十字社

◆創立100周年学校債券募集 開始

創立100周年記念事業の円滑な実施のため、学校債券を発行する。

【学校債券概要】

募集対象	限定なし
目標額	10億円
債権額面	1口1千万円 1口以上
借入期間	満5年間
利息	年利 0.30%
開始日	令和6年7月より

◆特許実施料収入に係る実施補償金支給について

【発明の名称】 水晶体嚢保持器具

【実施料収入金額】 1,063,026円

※本研究に関する特許権を使用した対価として、株式会社はんだやから昭和大学へ支払われた金額。

【実施補償金（配分割合）】

昭和大学（60%）：637,816円 発明人（40%）：425,210円

昭和大学 令和6年度 オープンキャンパス情報

医学部	▶ 動画配信	8月 8日(木)
薬学部	👥 対面開催	8月 3日(土) 3月22日(土)
保健医療学部	👥 対面開催	8月 3日(土) 8月 4日(日) 11月 3日(日) 3月29日(土)★ ★リハビリテーション学科のみ
	📺 オンライン	3月29日(土)
4学部合同入試説明会	👥 対面開催	10月12日(土)



※原則予約が必要となりますので、詳細は受験生サイト専用ページをご確認ください。



i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

昭和大学学士会

第33回昭和大学学士会シンポジウム 「糖尿病と臓器合併症」開催

2024年度もシンポジウムを開催（公開）いたします。会期が近づきましたら、公開URLを昭和大学学士会ホームページにてご案内いたします。是非ともご聴講ください。

【会期】2024年8月24日(土)～9月25日(水)公開

【開催形式】オンデマンド配信

1) 糖尿病臓器合併症の統一仮説

山岸昌一 教授
昭和大学大学院医学研究科 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野

2) 糖尿病と脂質代謝異常
木庭新治 教授 昭和大学大学院医学研究科 循環器内科学分野

3) 血管作動物質を介した心腎連関機序の解明～老化物質AGEsの関与～
上田誠二 特任教授
島根大学医学部統合腎疾患制御研究・開発センター 腎老化制御部門

4) 糖尿病に合併する骨粗鬆症とは？
太田博明 特任教授 川崎医科大学産婦人科学教室

お問い合わせ 昭和大学学士会

電話：03-3784-8074

メール：gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp



上條記念ミュージアム

好評につき期間延長！「昭和の医療機器」展

上條記念ミュージアムでは、第5回企画展「昭和の医療機器」を開催中ですが、好評につき本年10月末日まで開催期間を延長します。昭和大学の創立以来、教育や臨床の現場で使用された医療機器の展示を通じて窺える昭和大学の歴史を、当時の写真とともに紹介しています。

【開館】火曜日・金曜日13:00～15:00（予約制）

※6～7月の火曜日は12:00～15:00

皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

お問い合わせ 昭和大学上條記念ミュージアム

電話：03-3784-8031

メール：museum@ofc.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジ事務局

昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム受講生募集開始

7月8日(月)よりリカレントカレッジ秋期プログラム受講生の募集を開始しました。全34講座を取り揃え、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。今回は10月開講講座をご紹介します。資料請求・講座申し込みはリカレントカレッジホームページをご覧ください。

【10月開講】申込締切：9月20日(金)

プログラム名	講師（敬称略）
ハリウッド式！大人から始める初めてのボイストレーニング～楽しく歌って、心も体も元気になる～	金丸 明日香
アンチエイジングのための山歩（さんぽ）～紅葉と富士登山準備～	原口 省吾
我が国の医療と健康 その1～医師国家試験問題から紐解く～	小風 暁
我が国の医療と健康 その2～医師国家試験問題から紐解く～	小風 暁
咳や肺の病気に関する温故知新～伝統医学・民間信仰から最新医学まで～	鈴木 慎太郎
関節痛の予防・軽減のセルフケア～正しい姿勢で身体の不調を減らそう！～	田村 将希
見て・触れて・作って学ぶ漢方薬～漢方薬・生薬入門～	川添 和義
初心者のための楽しい筋トレ講座～正しいトレーニング法と身体のケアについて知る～	蜂須 貢
健康を維持するための筋トレ・栄養学～人生100年を有意義に過ごすための処方箋～	蜂須 貢
身体の変化に備える60代からの運動習慣	曾我 武史
「がんと言われても動揺しない社会」を考える	岸田 徹
からだの仕組みと薬の働き方から学ぶ「OTC医薬品の選び方・使い方」～胃腸薬を知る～	赤川 圭子
困難を抱える子どもへのかかわり方～院内学級の視点から子どものケアを考える～	副島 賢和
誰でもわかる法学入門～法学の基礎を知れば人生怖いものなし～	城 祐一郎
人生がハッピーになる 大人のためのオシッコ学	小川 良雄
あなたのこころは健康ですか？～こころの見方・癒し方～	幸田 るみ子
宇宙教育のすすめ～身近にある宇宙・天文技術の共有～	和田 直樹
歌うように話す！ハリウッド式ボイストレーニング～声帯の筋トレで、人を魅了する声を手に入れよう！～	金丸 明日香
歴史に隠れた病気を探る	小川 良雄
もしもに備える火山防災～富士山噴火から学ぶ～	馬場 章
医療従事者のための英会話講座～基礎編～	マイケル・マイヤース
医療従事者のための英会話講座～基礎+応用編～	マイケル・マイヤース
シミュレーションで学ぶICUリハビリテーション～体験して学び直し～	田代 尚範

【10月開講】申込締切：9月15日(日)

プログラム名	講師（敬称略）
アクティブラーニングで学ぶ医療現場のDX	中村 明央

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。

お問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143

メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



臨床ゲノム研究所

医療従事者向けのe-Learningを作成しました

2019年6月からがん遺伝子パネル検査が保険適応となり、「がんゲノム医療」は、医療従事者だけでなく一般の方にも耳慣れた言葉となってきました。しかし、「がんゲノム医療」とは何か、実臨床でどのように活用したら良いか曖昧な方も多いのではないのでしょうか。

そこで、がん細胞のゲノム情報を把握し、対応する治療薬を選択する、がんをコントロールするために欠かせないアプローチである「がんゲノム医療」について、日々の臨床や学習に役立てていただきたく動画を作成し、大学ホームページにアップいたしました。以下のQRコードよりぜひご覧ください。

今後皆さまのご要望に沿ったものを作成したいと考えております。お手数ではございますが、ご視聴後にアンケートのご協力をお願いいたします。（アンケートはホームページの視聴画面にございます）

お問い合わせ 臨床ゲノム研究所

電話：03-3784-8261

メール：ringen@med.showa-u.ac.jp



総合情報管理センター

新規情報システムの導入や利用を計画される場合の手続きについて

本学内において新規情報システムの導入や利用を計画されている場合、総合情報管理センターにて情報セキュリティや個人情報保護の観点から問題が無いか申請内容に基づいた確認（審査）を行いますので、以下を参照のうえ申請を行ってください。

1. 申請が必要な情報システム

該当する情報システムは、情報ネットワークおよび情報ネットワー

クを利用する情報処理に関わる下記システムとなります。

- ①本学が所有または管理している情報ネットワーク
- ②本学との契約により提供される情報ネットワーク
- ③事務処理業務に供され、事務局が運用する情報システム
- ④附属病院の診療業務に供され、附属病院が運用する情報システム
- ⑤教育・研究業務に供され、大学が運用する情報システム

2. 申請時期

システム導入を検討し、システム内容が具体化した時期に総合情報管理センターへ申請する。（システムベンダーと最初に打合せた後など、詳細を詰める前に申請することが望ましい）

3. 申請・導入手順

- ①申請者は申請時期になった時、総合情報管理センターへ「システム導入 事前確認申請書」を提出する
- ②後日、申請者は総合情報管理センターにシステム構成の概要を説明する
- ③総合情報管理センターはシステムの安全性について、総合情報管理センター情報システム実務者会議にて審査し、センター長に審査結果の承認を得る
- ④総合情報管理センターは審査結果を申請者に通知する
- ⑤承認を得られた場合、申請者は施設管理者に購入申請を行う
- ⑥情報システムを設置する施設・部署の管理者は、情報システムを安全かつ適切に管理・運用を行い、情報セキュリティの確保が徹底されるよう必要な措置を講じる
- ⑦申請者はシステム稼働前に購入決定したシステム資料を総合情報管理センターへ提出し、申請内容と相違ないことを総合情報管理センターは確認する

お問い合わせ 総合情報管理センター

電話：03-3784-8651

メール：itcenter@ic.showa-u.ac.jp



統括研究推進センター

令和6年度学内研究支援制度について

昭和大学統括研究推進センター（SURAC）では研究活動の活性化を図るため、さまざまな学内研究支援制度を制定しています。令和6年度の研究支援制度は、以下の通りです。多くの方に是非ご活用いただければと思います。

① 科研費獲得奨励研究費制度

科研費に研究代表者として応募し、不採択となった方に対して大学研究費を再配分し、次年度以降の科研費の申請と獲得に向けて支援を行うことで、研究活動の活性化を図ることを目的としています。

助成額は、

科研費申請額1,000万円以上の審査結果不採択A評価の者 100万円

科研費申請額1,000万円未満の審査結果不採択A評価の者 50万円

② 科研費直接経費補填制度

科研費に採択されたが、直接経費が申請額よりも減額された方に対して大学研究費より補填を行い、研究活動の活性化を図ることを目的としています。

助成額は、

科研費直接経費申請額1,000万円以上の採択者 60万円/件

科研費直接経費申請額1,000万円未満の採択者 30万円/件

③ 学術論文投稿・掲載料、外国語論文校正費用助成制度

教育職員、大学院生の学術誌への論文投稿を奨励し、研究の促進と支援を目的として論文投稿・掲載料および外国語論文校正費用の経費を補助し、研究活動の活性化を図ります。

助成額は、

外国語論文の投稿・掲載料および外国語論文校正費用 30万円/回

日本語論文の投稿・掲載料 5万円/回

④ 昭和大学トランスレーショナル研究助成

本学における複数の研究分野にわたる共同研究活動を促進し、研究成果により社会の発展に寄与することを目的としています。トランスレーショナルリサーチなど、基礎研究者と臨床のスタッフが同じテーマに向けた研究を行うことで研究の活性化を図ります。

助成額および採択件数は、1件につき上限300万円、4件助成予定です。

⑤ 昭和大学と包括連携協定大学との共同研究に対する助成制度

本学と包括連携協定大学との共同研究を通じて本学における研究活動の活性化を図ることを目的として共同研究に必要な経費の助成を行います。

助成額は、研究経費の当年度必要額とし、助成額上限および助成件数を定めず、予算総額（1,000万円）の範囲内で助成します。

お問い合わせ 統括研究推進センター事務局研究推進課

電話：03-3784-8863

メール：surac1@ofc.showa-u.ac.jp

総務部

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

【創立100周年に向けてへの寄付】

同窓／長井 孝太郎 様（医学部・43回生）、広島県 あんどう眼科 安藤 仁 様（医学部・47回生）

職員（50音順）／大石 竜 様、菅沼 岳史 様、樋口 恵子 様、富士 幸蔵 様、山本 登 様、至誠塾4回生一同 様

一般／株式会社ジェイ・シー・ティ 様、株式会社 村山 様

【研究所への寄付】

職員／杉浦 敦 様

【昭和大学病院への寄付】

一般／アット・ファシリティアボ株式会社 代表取締役 宮本純一 様

【昭和大学江東豊洲病院への寄付】

一般／石川 絢 様、大嶋 美帆 様

【各クラブ・学生会への寄付】

同窓／百町内科呼吸器内科 小栗 満 様（医学部・58回生）、昭和大学アメリカンフットボール部OBOG会 様

※収納期間：4月1日～5月31日

※本学広報媒体への掲載に同意していただいた方のみといたします

今号の表紙写真

表紙写真は5月30日・31日に横浜キャンパス「横浜自然教育園」で行われた梅の収穫祭から。自然教育園は、今年の2月に4か年の整備を終え、開園しました。敷地面積が約14,000㎡あり、八重寒紅や雲の曙など多数のウメが植栽され、その栽培品種数は100を超えます。今頃は、収穫祭の日で作った梅シロップができあがりの頃でしょうか。これからも各キャンパスの活動や季節の風景をお届けしていきます。



SHOWA UNIVERSITY NEWS
vol. 11



学校法人 昭和大学 (03) 3784-8000
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

Jun. - Jul. 2024
昭和大学新聞 通巻第620号
令和6年7月31日発行
年6回発行

【本誌について】

発行人 小口 勝司

編集 総務課 大学広報係
(03) 3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見や感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社

配送停止
住所変更
の連絡は、
こちらにお願
いします。

【各種募金・寄付について】

企画課 (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 (03) 3784-8022 (旗の台)
(0555) 22-4403 (富士吉田)
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 (03) 3784-8793

入学支援課 (03) 3784-8026

！個人情報の取扱いにご注意ください

昭和大学新聞には、学生・職員および学外関係者の氏名や所属等を掲載している場合があります。掲載に際しては、学校法人昭和大学が個人情報を広報活動に利用することについて説明し、同意していただいております。原則として、その他の目的に個人情報を利用することはできませんので、取扱いにはご注意ください。